

第1回新潟市自転車利用環境推進委員会

次 第

1. 開会
2. あいさつ
3. 委員及びオブザーバー紹介
4. 委員長の選出及び委員長代理の指名
5. 議事
 - (1) 委員会の目的と内容について
 - (2) 委員会のスケジュールについて
＜詳細説明＞
 - (3) 計画の取組・進捗状況と効果検証について
 - (4) 計画の課題・改善点について
＜質疑応答・意見聴取＞
 - (5) 新潟市自転車走行空間整備ガイドラインの作成について
＜質疑応答・意見聴取＞
6. 閉会
7. その他（事務連絡等）

資料2短縮版
(説明用)

3. 委員及びオブザーバー紹介

委員		
区分	現職等	氏名
学識経験者	新潟大学工学部建設学科 准教授	イロサ アキヒコ 岩佐 明彦
	茨城大学工学部都市システム工学科 教授	キン トシアキ 金 利昭
団体代表	NPO法人 自転車活用推進研究会 事務局長	コバヤシ シゲキ 小林 成基
	「自転車のまち“新潟”」の会 会長	イロマ マサヨシ 岩間 正吉
	にいがたレンタサイクル研究会事務局長	タカハシ マサヨシ 高橋 正良
	NPO法人 ワーキングウィメンズアソシエーション理事	カヤマ マス子 葉山 靖子
	NPO法人 まちづくり学校代表理事	ハシガワ ミカ 長谷川 美香
	新潟県交通安全協会女性部長（理事）	カネコ カズ子 金子 和子
	新潟市男女共同参画推進センター「アルザにいがた」企画委員	ヨシタ アヤコ 吉田 綾子
	関係行政機関	国土交通省北陸地方整備局 新潟国道事務所長
	新潟県警察本部交通部交通規制課長	オオモミ マサアキ 大桃 正明
公募委員		スギモト ミチアキ 杉本 道秋
		ワタナベ ナオ子 渡辺 直子
オブザーバー		
区分	現職等	氏名
関係団体（公共交通機関）	東日本旅客鉄道㈱新潟支社総務部企画室長	ニシタ サトシ 西田 聡
	新潟交通株式会社乗合バス部運転保安課長	ワタナベ トオル 和田 徹
事務局		
区分	現職等	氏名
事務局	新潟市土木部土木総務課	

4. 委員長の選出及び委員長代理の指名

5. 議事

- (1) 委員会の目的と内容について
- (2) 委員会のスケジュールについて
- (3) 計画の取組・進捗状況と効果検証について
- (4) 計画の課題・改善点について
- (5) 新潟市自転車走行空間整備ガイドラインの作成について

(1) 委員会の目的と内容について

<委員会の目的>

平成22年3月に策定した「新潟市自転車利用環境計画」の推進について、市民、学識経験者、関係行政機関等からの幅広い意見を聴取すること

<委員会の概要>

計画の進捗状況、施策の修正案、設定した施策の評価指標について、意見聴取する

<委員会の内容>

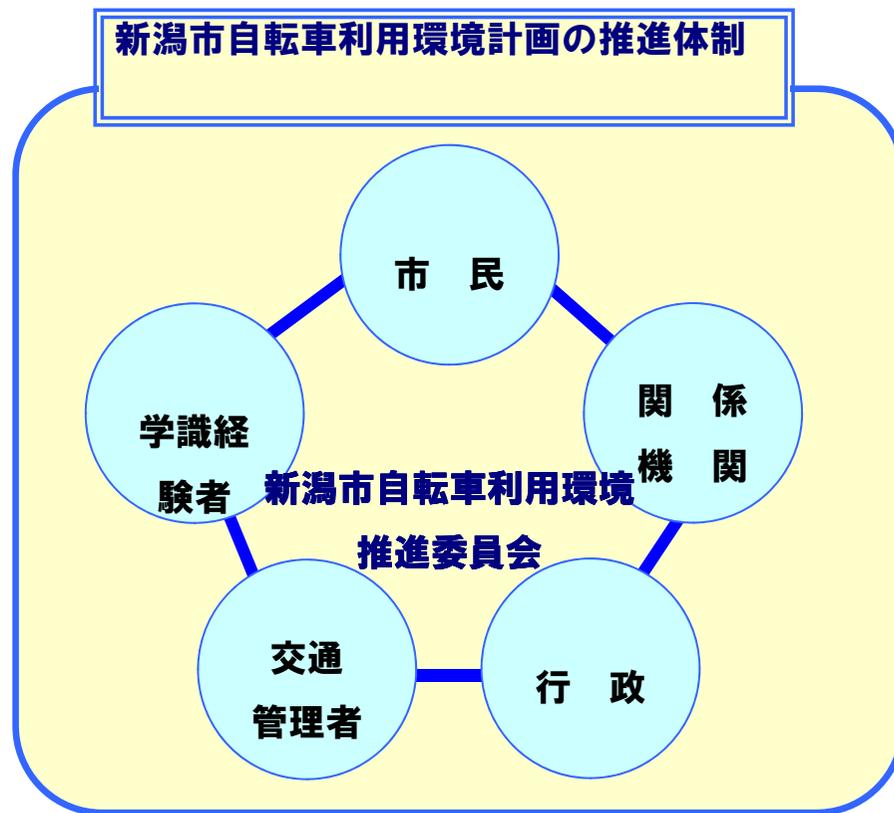
○計画推進に向けた体制と方法

・取組・推進体制について

施策メニュー表

	対策項目	連携・協力団体
走行計画	① 道路整備による走行空間の確保	国、警察
	② 注意喚起看板による安全性の確保	国、警察
駐輪計画	① 駐輪場への誘導	ボランティア
	② 道路上や空き空間を有効活用した駐輪場整備	民間
	③ 空き店舗を有効活用した駐輪場整備	民間
	④ 民間自動車駐車を有効活用した駐輪場整備	民間
	⑤ 駐輪場の収容台数の増加	交通事業者
	⑥ 大規模駐輪場の整備	交通事業者
	⑦ 地下空間を有効活用した駐輪場の整備	民間、国
	⑧ バスとの連携	交通事業者
放置対策	① 放置禁止区域の拡大	国、警察
	② 「自転車等駐車場の設置等に関する条例」の改正	—
	③ ニックネーム入りナンバープレート添付の運動	学校、NPO
	④ 撤去の強化	警察
	⑤ 自転車等放置防止条例の改正	—
	⑥ 撤去自転車リサイクル	市内自転車店
	⑦ レンタサイクル（シェアリング）	民間
	⑧ 大学内レンタサイクル（シェアリング）	大学、民間企業
	⑨ 大学の卒業生から新入生への自転車の譲受け	大学、自転車業者
	⑩ 放置禁止区域における駐輪場の有料化	民間
啓発活動計画	① 注意喚起看板の設置	—
	② 啓発ボランティア活動	住民団体、商店街、NPO
	③ 交通安全教室（学校、自治会、街頭）	警察
	④ ワークショップの開催	警察、住民団体、NPO
	⑤ 各種イベントと合わせた啓発活動	住民団体、NPO、サイクリング協会
	⑥ 公共施設や店舗にマナー向上のポスターを掲示	小・中学校、警察
	⑦ 自転車免許の交付	警察
	⑧ 歩道上や駐輪場でのやさしい声かけ	商店街、高校、中学校
	⑨ ツーロックキャンペーン	警察
	⑩ マナーコンクール	警察、高校
	⑪ 小中学生による放置自転車整理体験	警察
	⑫ シンポジウム	NPO
	⑬ 仮自転車専用道の設置	警察
	⑭ プーマイカーデー、サイクル&ライド	国、県、各企業
	⑮ 自転車通勤奨励制度	各企業
	⑯ レンタサイクル	民間

新潟市自転車利用環境計画の推進体制

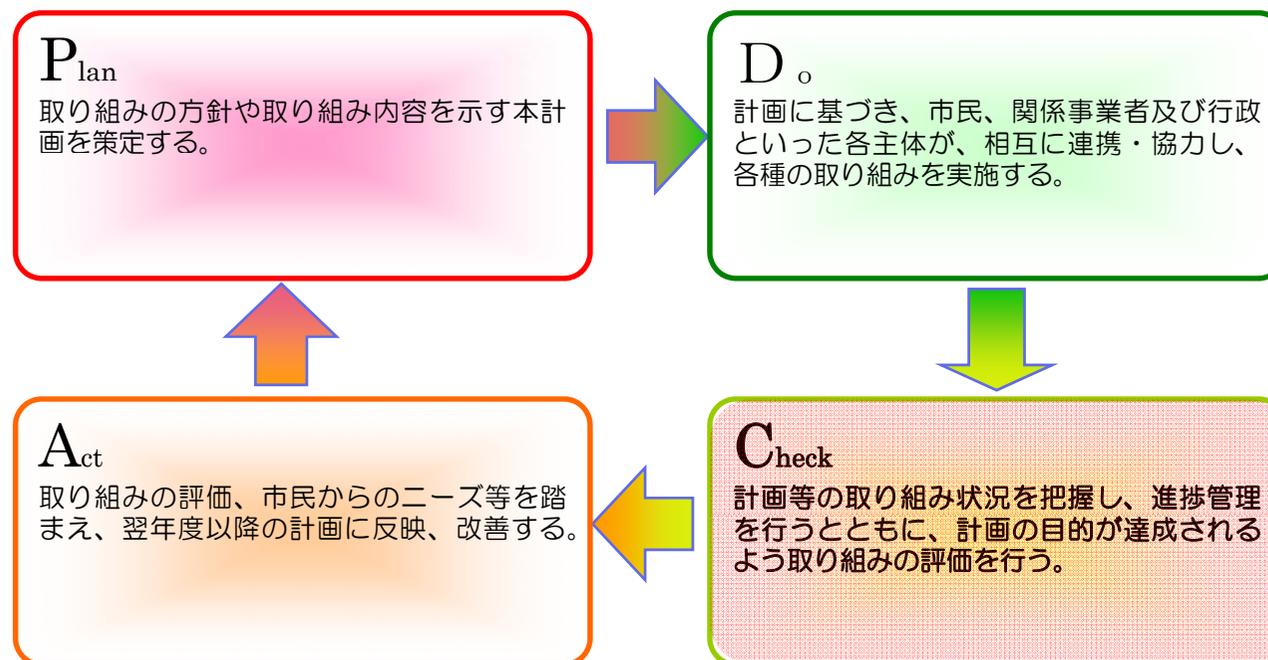


<委員会の内容>

○計画推進に向けた体制と方法

・計画評価のサイクルについて

取組の結果を検証し、本計画の目的が達成されるよう、絶えず修正や改善を行っていく必要がある。社会情勢等の変化を踏まえて計画の見直しの対応をする。下記のようにPDCAサイクルを導入し確実な推進を図る。今回の推進委員会は1回目のCheckにあたる。



<委員会の内容>

○委員会の検討内容

1. 第1回推進委員会検討内容（H25.5.22）

- ・ 計画の取組・進捗状況と効果検証について
- ・ 計画の課題・改善点について
- ・ 新潟市自転車走行空間整備ガイドラインの作成について

2. 第2回推進委員会検討内容（H25.秋予定）

- ・ 施策メニュー【既存，未定，廃止，新規】の振分けと修正について
- ・ 施策メニューの重点化及びそのアウトプット指標（活動指標）の設定
- ・ 施策メニュー全体からアウトカム指標（成果指標）の設定



「新潟市自転車利用環境計画」の修正

5. 議事

- (1) 委員会の目的と内容について
- (2) 委員会のスケジュールについて
- (3) 計画の取組・進捗状況と効果検証について
- (4) 計画の課題・改善案について
- (5) 新潟市自転車走行空間整備ガイドラインの作成について

(2) 委員会のスケジュールについて

H25年度中

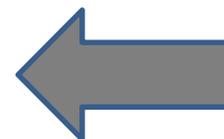
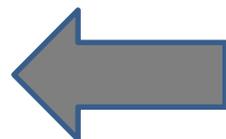
「新潟市自転車利用環境計画」修正

H25年度秋

第2回 自転車利用環境推進委員会

H25.5.22

第1回 自転車利用環境推進委員会



5. 議事

- (1) 委員会の目的と内容について
- (2) 委員会のスケジュールについて
- (3) 計画の取組・進捗状況と効果検証について
- (4) 計画の課題・改善点について
- (5) 新潟市自転車走行空間整備ガイドラインの作成について

～計画のおさらい～ 新潟市自転車利用環境計画 ー概要版ー

計画策定の背景

近年の環境問題や健康意識の高まり、市民生活を取り巻く環境の変化を受け、経済的に地球環境の負荷低減に効果が期待できる自転車の利用が見直されてきています。

また、通勤等における自動車依存度の高さ、自転車利用者による歩行者や自転車との接触事故、路上駐輪や放置自転車等が社会問題となってきました。



■新潟市の自転車事故件数の推移



■歩道内を錯綜する歩行者と自転車



■新潟大学前駅の長期放置自転車



■万代地区の放置自転車



■商店街を走行する自転車

計画策定の目的

市民に身近な乗り物である自転車の利用環境を整備し、

- 歩行者の安全確保
- 自転車の交通事故の削減
- 環境にやさしく健康にも良い自転車利用の促進

を目的に、「新潟市自転車利用環境計画」を策定します。

計画の区域

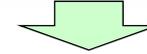
新潟市全域を対象とします。

計画の期間

平成22年度から平成31年度の10カ年とします。

自転車利用環境計画のビジョン

歩行者に十分配慮し、環境問題や健康増進、更にスポーツ面からも有効な交通手段として活用を期待できる、自転車を活かしたまちづくりを進めるため、



**歩行者、自転車、自動車が
安全で安心して 共存できる道路空間を構築を目指します**

自転車利用環境計画の基本方針

歩行者、自転車、自動車が安全で安心して共存できる道路空間の構築を目指し、4つの基本方針により取り組みを進めます。

はしる

～走行空間計画～

自転車で気軽に楽しく
“はしる”まち新潟

とめる

～駐輪計画～

自転車ではしり、“とまり”、
歩くことができるまち新潟

**歩行者、自転車、自動車が
安全で安心して共存できる
道路空間を構築する**

しくみ

～放置自転車対策～

“しくみ”をつくり、
歩行者にやさしく、
風景にとけ込むまち新潟

まもる

～啓発活動計画～

ルールを“まもり”、自転
車に乗る人が快適に、人に
やさしいまち新潟

(3) 計画の取組・進捗状況と効果検証について

<当初の計画の進め方>

- ・ 計画における各施策メニューについては，10年間の中でできることから順次実施することとした。

施策メニュー表	新潟市自転車利用環境計画		対策項目	連携・協力団体
	走行計画	→	① 道路整備による走行空間の確保 ② 注意喚起看板による安全性の確保	国、警察 国、警察
	駐輪計画	→	① 駐輪場への誘導 ② 道路上や空き空間を有効活用した駐輪場整備 ③ 空き店舗を有効活用した駐輪場整備 ④ 民間自動車駐車を有効活用した駐輪場整備 ⑤ 駐輪場の収容台数の増加 ⑥ 大規模駐輪場の整備 ⑦ 地下空間を有効活用した駐輪場の整備 ⑧ バスとの連携	ボランティア 民間 民間 交通事業者 交通事業者 民間、国 交通事業者
	放置対策	→	① 放置禁止区域の拡大 ② 「自転車等駐車場の附置等に関する条例」の改正 ③ ニックネーム入りナンバープレート添付の運動 ④ 撤去の強化 ⑤ 自転車等放置防止条例の改正 ⑥ 撤去自転車リサイクル ⑦ レンタサイクル（シェアリング） ⑧ 大学内レンタサイクル（シェアリング） ⑨ 大学の卒業生から新入生への自転車の譲受け ⑩ 放置禁止区域における駐輪場の有料化	国、警察 — 学校、NPO 警察 — 市内自転車店 民間 大学、民間企業 大学、自転車業者 民間
	啓発活動計画	→	① 注意喚起看板の設置 ② 啓発ボランティア活動 ③ 交通安全教室（学校、自治会、街頭） ④ ワークショップの開催 ⑤ 各種イベントと合わせた啓発活動 ⑥ 公共施設や店舗にマナー向上のポスターを掲示 ⑦ 自転車免許の交付 ⑧ 歩道上や駐輪場でのやさしい声かけ ⑨ ツーロックキャンペーン ⑩ マナーコンクール ⑪ 小中学生による放置自転車整理体験 ⑫ シンポジウム ⑬ 仮自転車専用道の設置 ⑭ ノーマイカーデー、サイクル&ライド ⑮ 自転車通勤奨励制度 ⑯ レンタサイクル	— 住民団体、商店街、NPO 警察 警察、住民団体、NPO 住民団体、NPO、サイクリング協会 小・中学校、警察 警察 商店街、高校、中学校 警察 警察、高校 警察 NPO 警察 国、県、各企業 各企業 民間

走行空間計画の進捗状況について

走行空間計画	① 道路整備による走行空間の確保	
	② 注意喚起看板による安全性の確保	

ネットワーク路線図

ネットワーク路線 L=154km

自転車専用通行帯



幅広路肩



自転車道



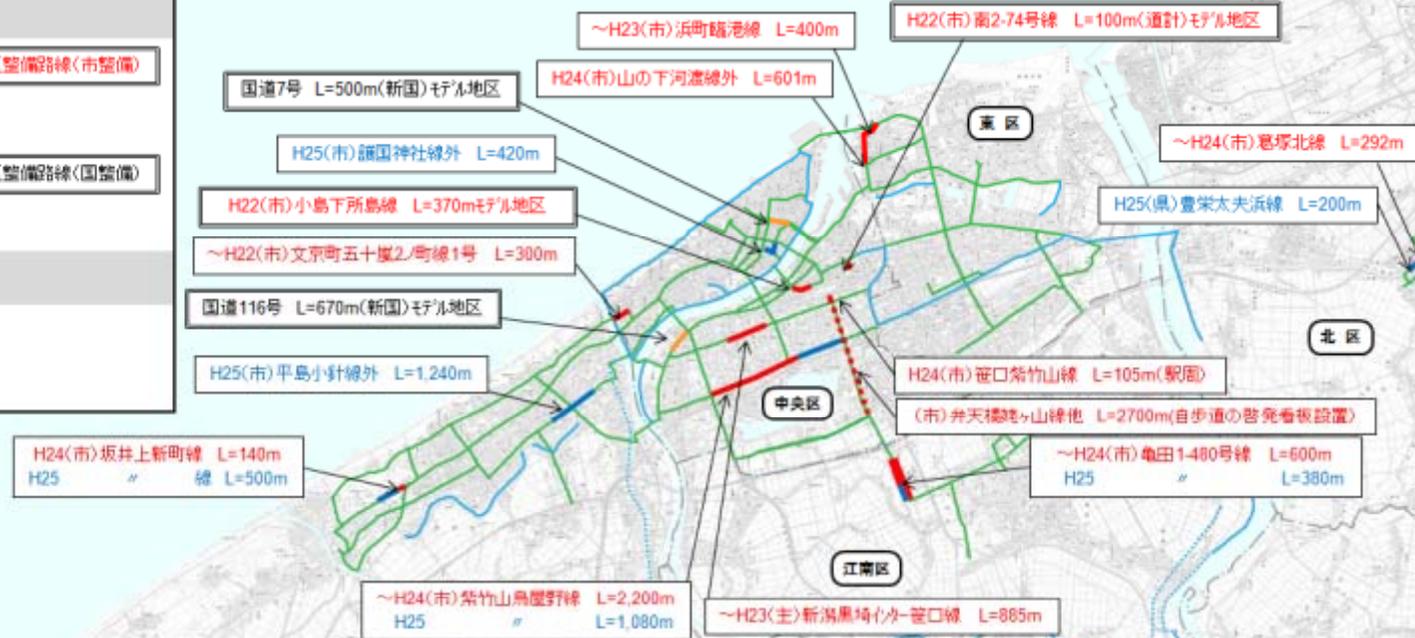
新潟市自転車走行空間整備全図(～H24, H25予定)

自転車走行空間ネットワーク路線

- 市整備済み路線 (モデル地区整備路線(市整備))
- 市整備予定路線 (H25予定)
- 国整備済み路線 (モデル地区整備路線(国整備))
- 未整備路線

自転車歩行者専用道

- 整備済
- 整備予定



～H24年度自転車走行空間整備状況

ネットワーク路線

計画路線延長	自転車走行空間可能路線			単位(km)
(計画策定時概略調査)	154.01			154.01
行政種別	自転車道※	自転車専用通行帯	自転車通行帯(幅広路肩)	計
新潟国道事務所	1.17	0.00	0.00	1.17
新潟市	0.71	0.37	4.82	5.90
計	1.88	0.37	4.82	7.07
合計	7.07			7.07

整備率(%) 4.6 4.6

※自歩道の通行部分の明示も含む

ネットワーク路線以外				単位(km)
行政種別	自転車道※	自転車専用通行帯	自転車通行帯(幅広路肩)	計
新潟市	0.1	0	0	0.1
計	0.1	0	0	0.1

H22～24自転車走行空間整備費
(土木総務課予算)
9路線 5.8km
343百万円

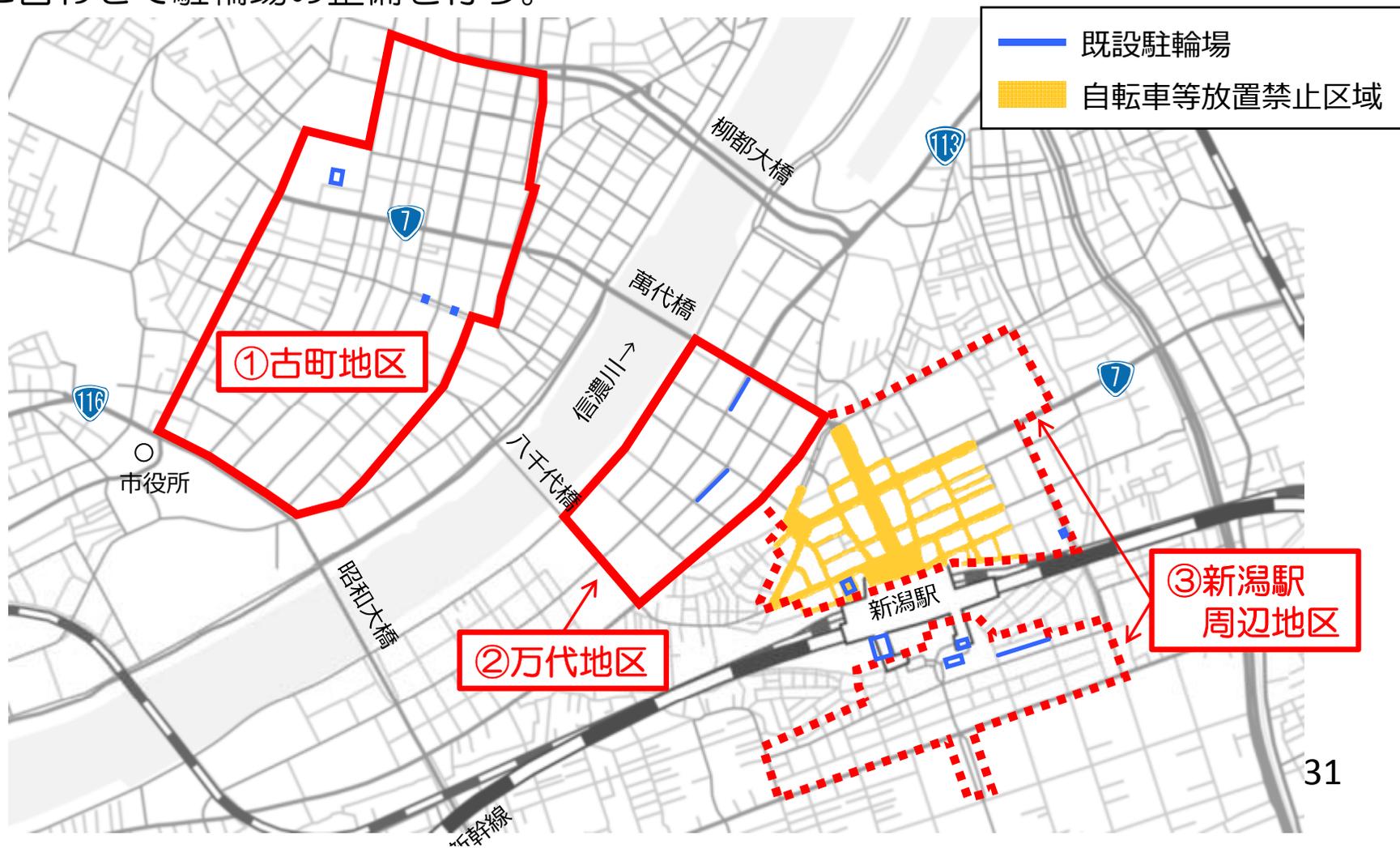
駐輪計画の進捗状況について

駐輪計画	① 駐輪場への誘導
	② 道路上や空き空間を有効活用した駐輪場整備
	③ 空き店舗を有効活用した駐輪場整備
	④ 民間自動車駐車場を有効活用した駐輪場整備
	⑤ 駐輪場の収容台数の増加
	⑥ 大規模駐輪場の整備
	⑦ 地下空間を有効活用した駐輪場の整備
	⑧ バスとの連携

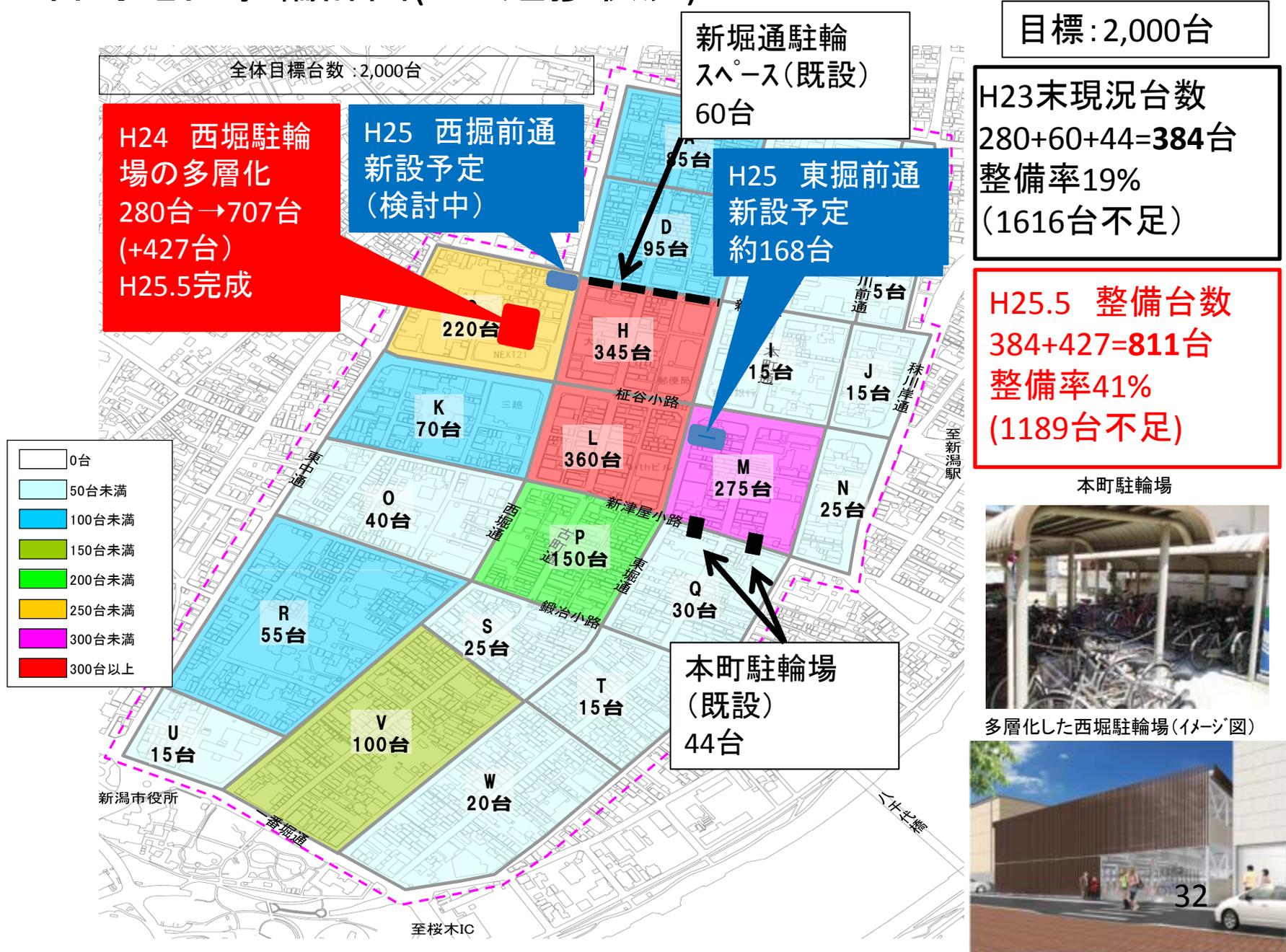
主な駐輪場計画

1. 対象地区

- 対象地区は、古町地区と万代地区とする。
- 新潟駅周辺地区は、新潟駅付近連続立体交差事業が事業中であるため、事業の進捗に合わせて駐輪場の整備を行う。



古町地区駐輪計画(H25進捗状況)

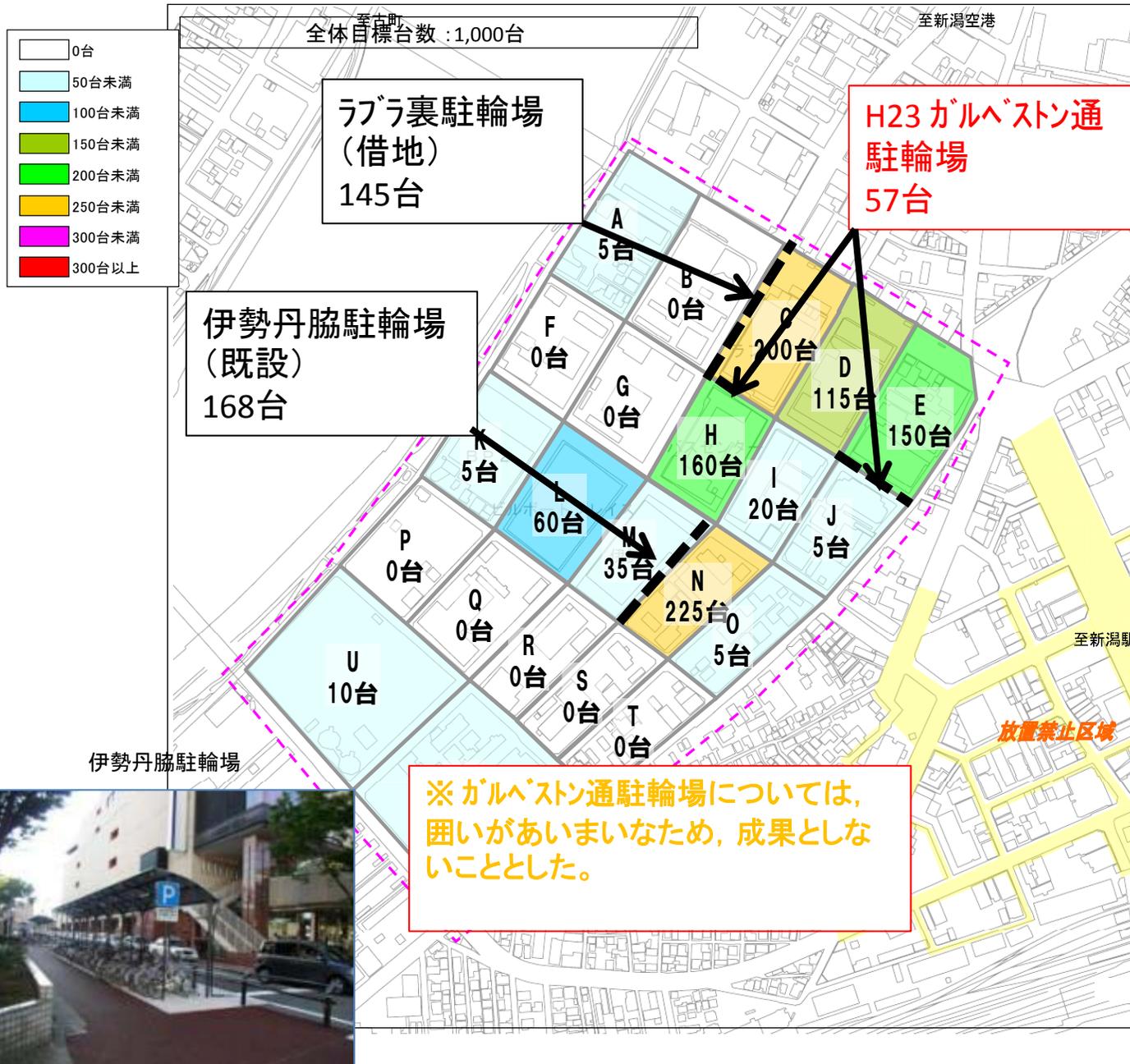


多層化した西堀駐輪場(イメージ図)



32

万代地区駐輪計画(H24末進捗状況)



目標: 1,000台

H21末 台数
168+145=313台
整理率: 31%
(687台不足)

H24末 台数
313+57=370台
整備率: 37%
(630台不足)



放置対策の進捗状況について

放置自転車対策	① 放置禁止区域の拡大
	② 「自転車等駐車場の附置等に関する条例」の改正
	③ ニックネーム入りナンバープレート添付の運動
	④ 撤去の強化
	⑤ 自転車等放置防止条例の改正
	⑥ 撤去自転車リサイクル
	⑦ レンタサイクル(シェアリング)
	⑧ 大学内レンタサイクル(シェアリング)
	⑨ 大学の卒業生から新入生への自転車の譲受け
	⑩ 放置禁止区域における駐輪場の有料化

1 自転車等駐車場と放置自転車の現状

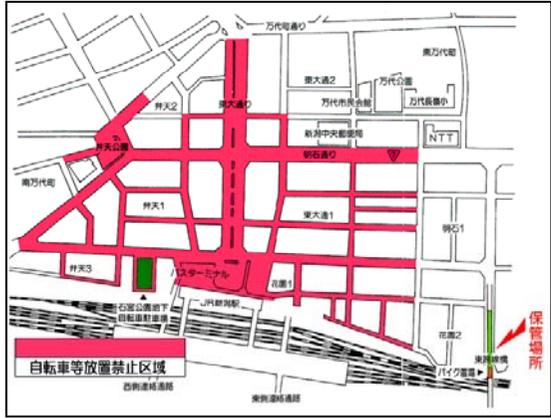
◆ 自転車等駐車場の設置状況

- 有料自転車駐車場(自転車専用)
 - ・1ヶ所 (新潟駅万代口)
 - ・収容台数 967台
 - ・名称 石宮公園地下自転車駐車場

- 無料自転車等駐車場
 - ・85ヶ所
 - ・収容台数 約23,700台

合計
86ヶ所
約24,700台

利用料金			
定期	1ヶ月	一般	2,000円
		学生	1,000円
一時利用	1日1回		100円



放置禁止区域(万代口周辺300m)

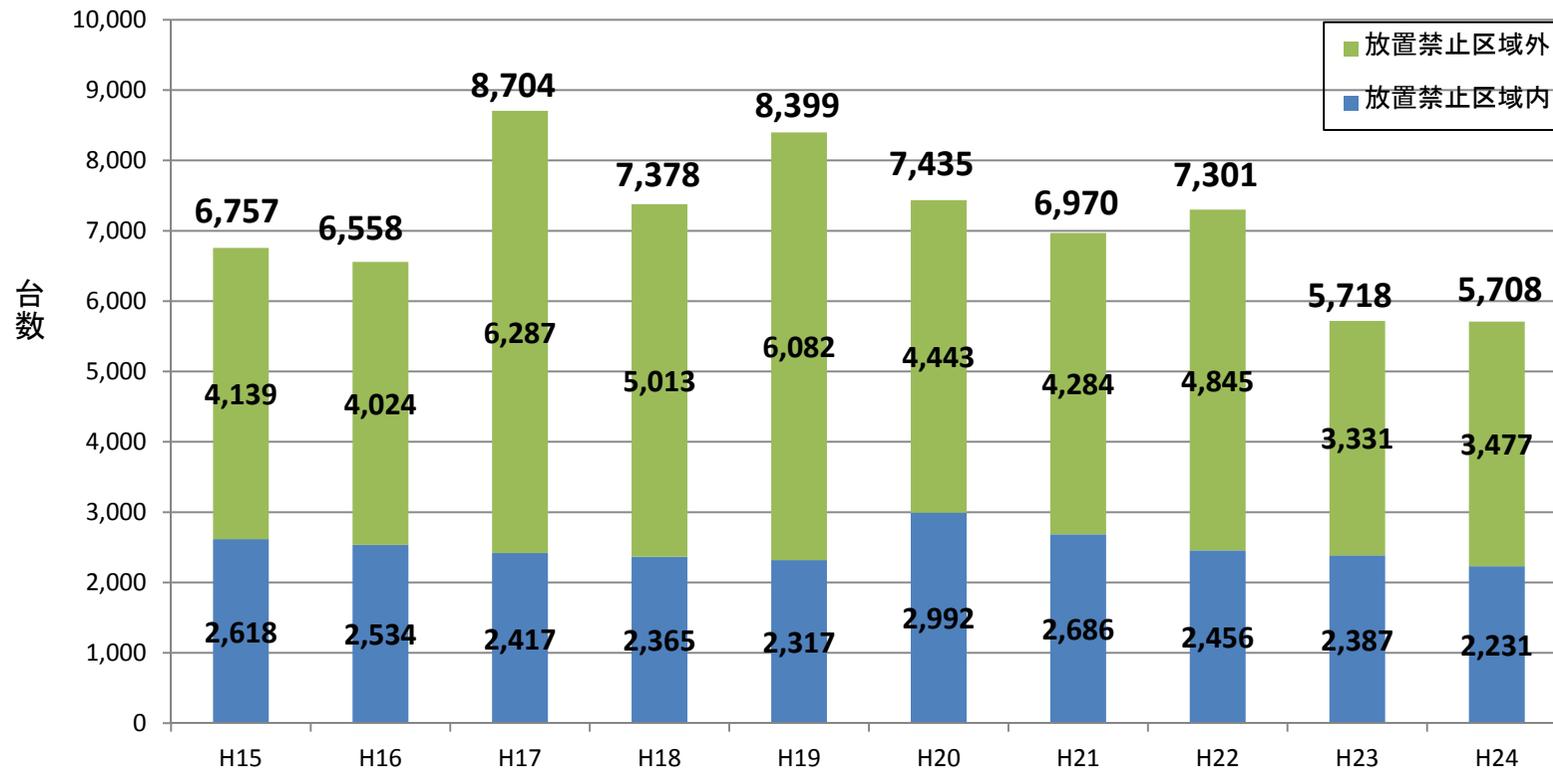


石宮公園地下自転車駐車場

1 自転車等駐車場と放置自転車の現状

◆ 放置自転車撤去台数の推移

放置自転車の撤去台数の推移

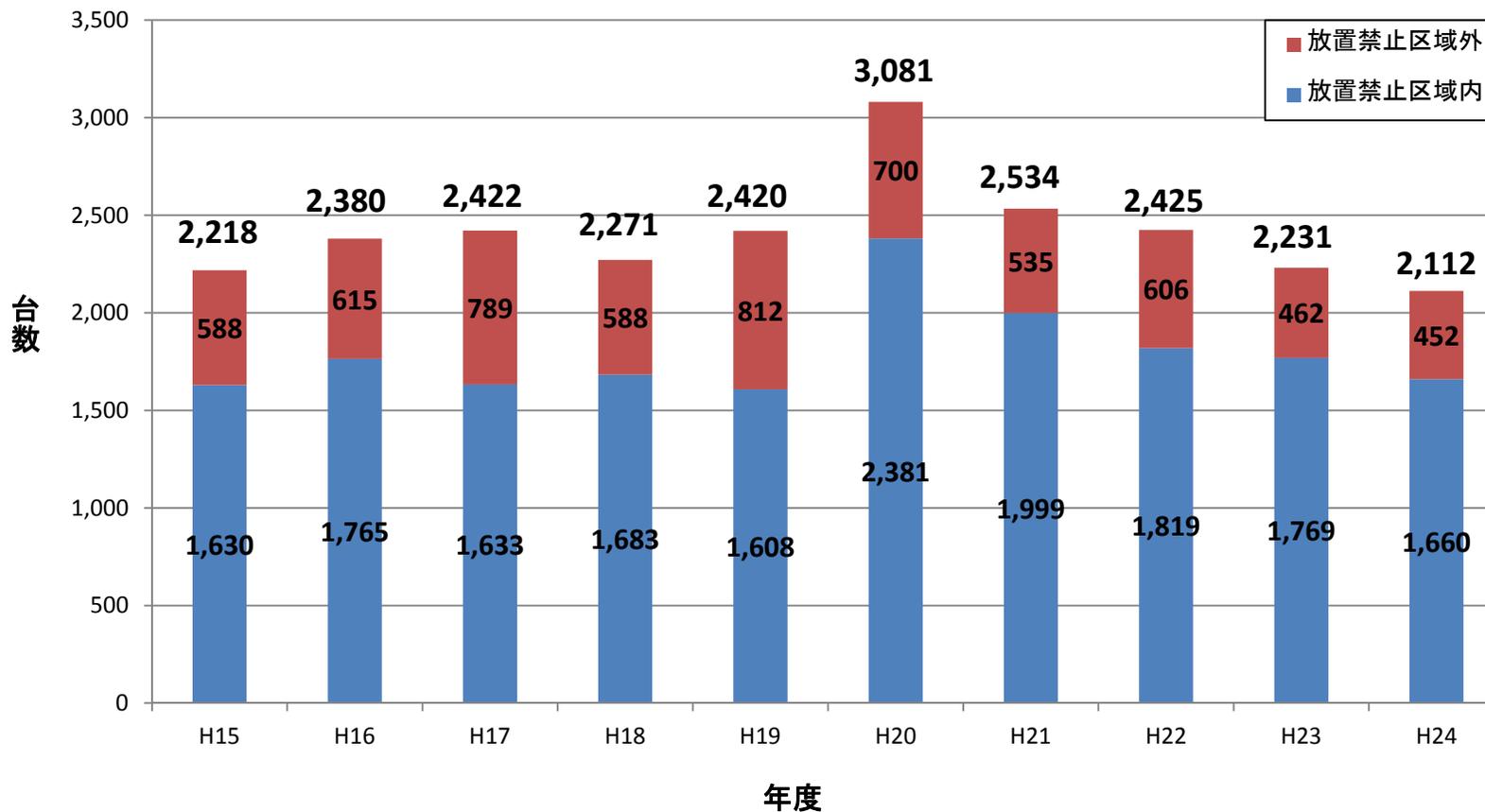


1 自転車等駐車場と放置自転車の現状

◆ 放置自転車の返還台数の推移

□ 撤去・保管手数料 ・自転車 1,000円 ・原動機付自転車 1,500円

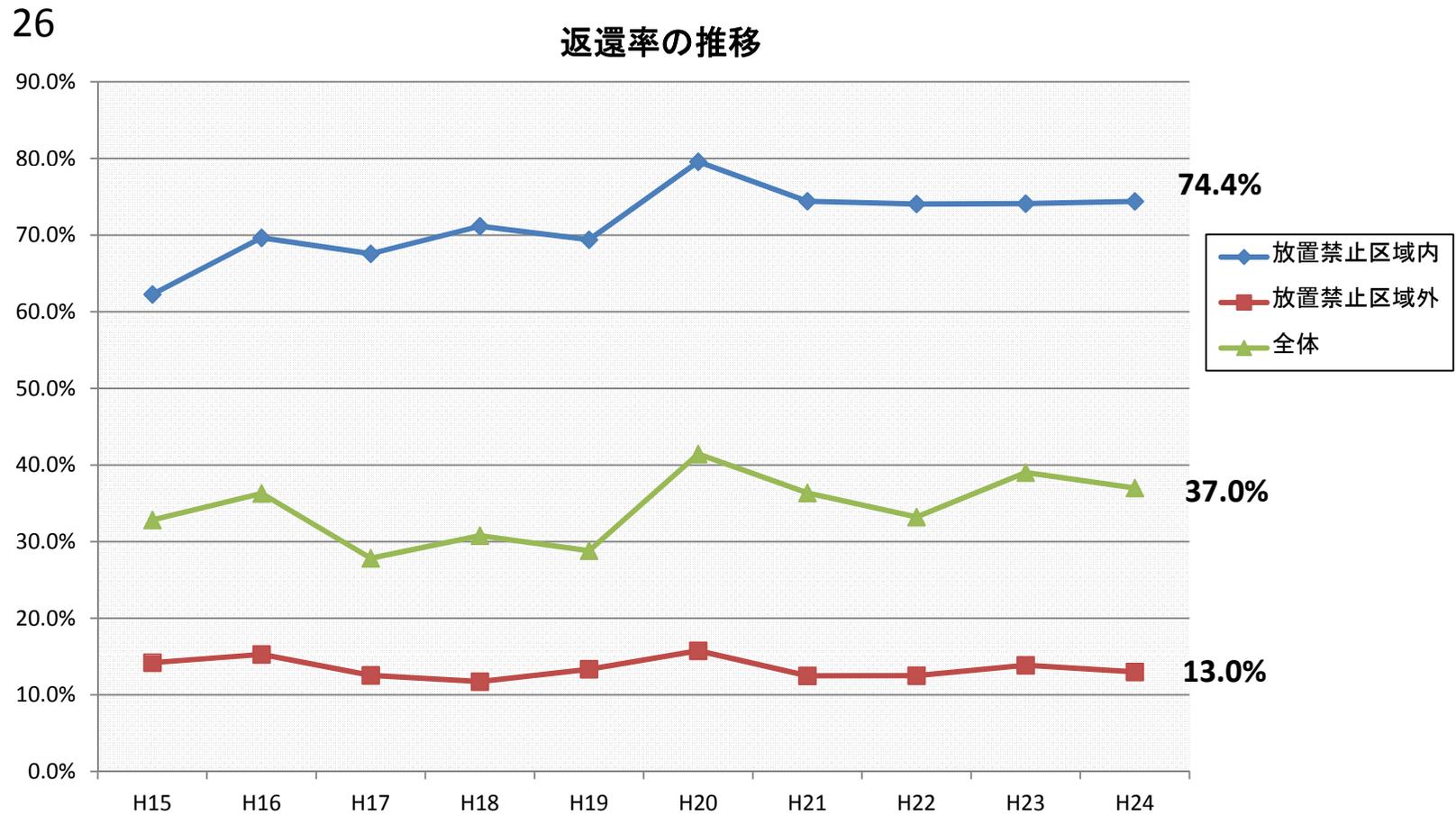
放置自転車の返還台数の推移



1 自転車等駐車場と放置自転車の現状

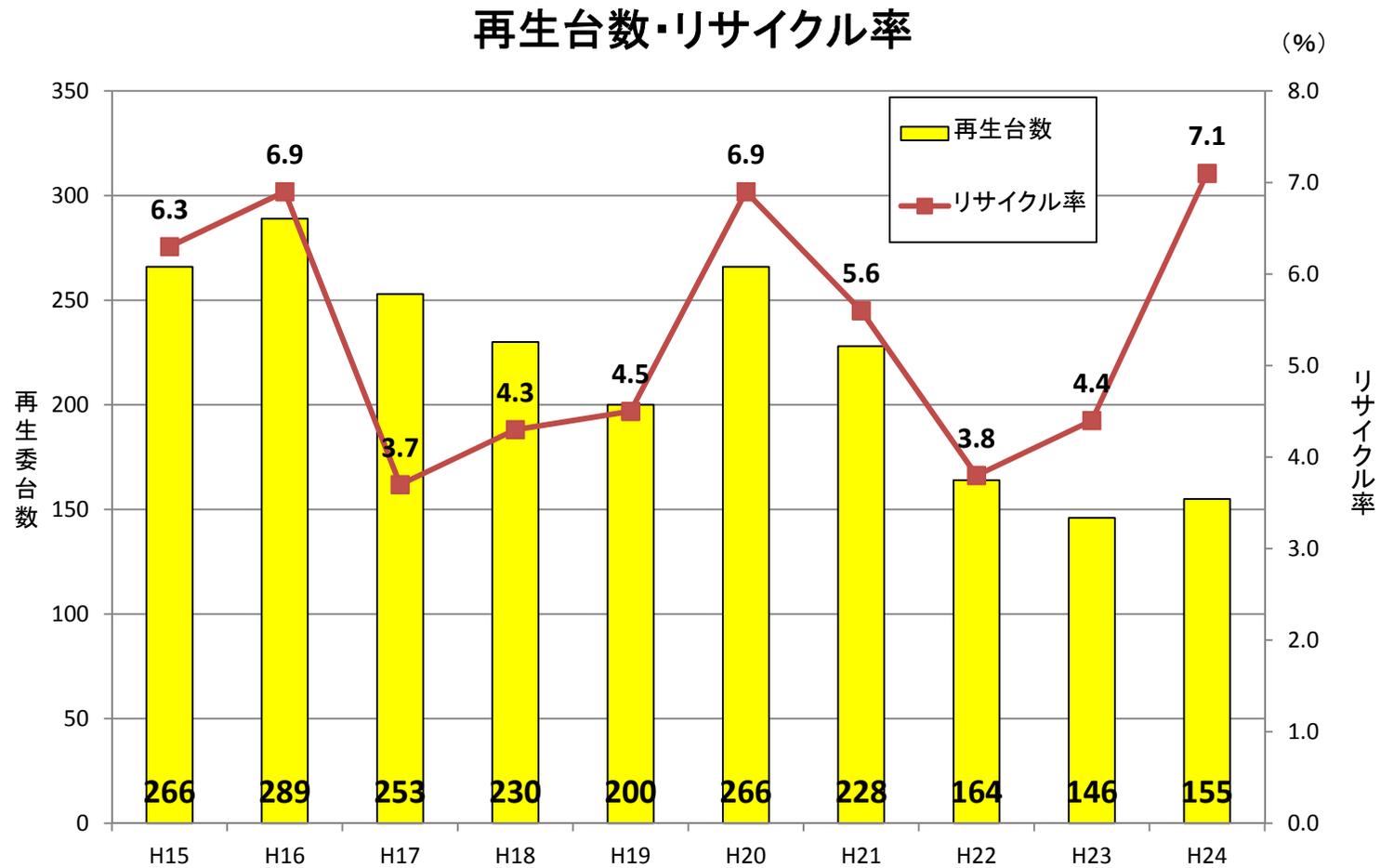
◆ 放置自転車の返還率の推移

□ 撤去・保管手数料 ・自転車 1,000円 ・原動機付自転車 1,500円



1 自転車等駐車場と放置自転車の現状

◆ 再生台数・リサイクル率の返還率の推移



1 自転車等駐車場と放置自転車の現状

◆ H23年度処分台数と処分費について

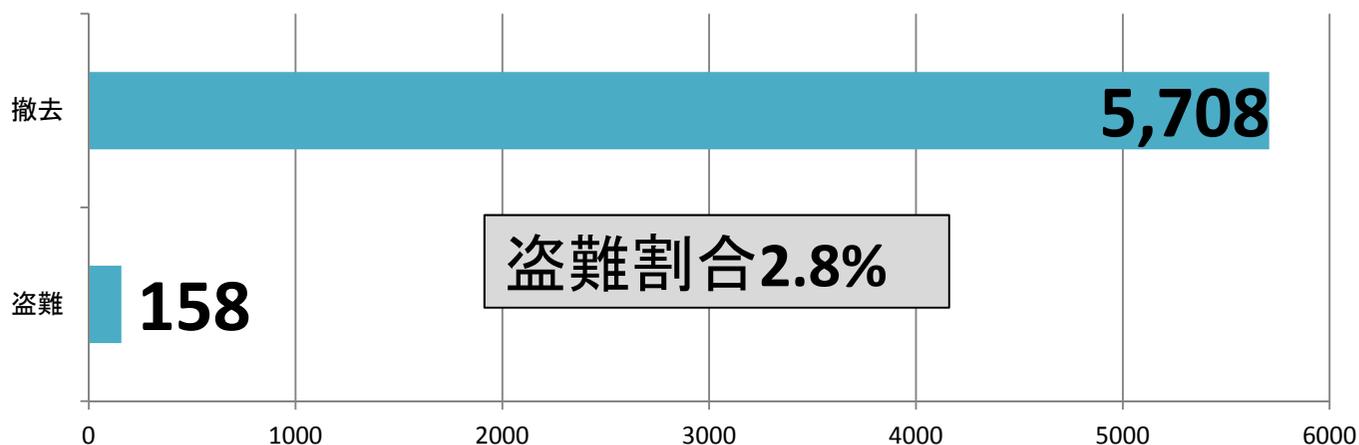
処分費：1,112千円

処分台数：3,156台

353円/台

◆ H24年度撤去台数の内の盗難台数について

H24 放置自転車撤去台数・盗難台数



(新潟市内全区)

(台)

1 自転車等駐車場と放置自転車の現状

◆ 中心市街位置での放置自転車が課題の一つとなっている

古町通の現状

中心市街地の位置



放置自転車が増えると・・・

- 歩行者の通行障害
- 緊急・防災活動の妨害
- まちの美観低下

新潟駅南口仮設駐輪場



2 放置自転車対策の取組み

■ 中心市街地における自転車駐車対策の方針

自転車等駐車場の不足

車道(パーキングメーターの設置部分)・歩道・空き店舗など既存の施設を活用した自転車等駐車場の整備



自転車等駐車の原因施設の責任の明確



附置義務条例の制定

自転車等利用者の駐輪マナー向上



自転車等放置禁止区域の指定
啓発活動

啓発活動計画の進捗状況について

啓発活動計画	① 注意喚起看板の設置
	② 啓発ボランティア活動
	③ 交通安全教室(学校、自治会、街頭)
	④ ワークショップの開催
	⑤ 各種イベントと合わせた啓発活動
	⑥ 公共施設や店舗にマナー向上のポスターを掲示
	⑦ 自転車免許の交付
	⑧ 歩道上や駐輪場でのやさしい声かけ
	⑨ ツーロックキャンペーン
	⑩ マナーコンクール
	⑪ 小中学生による放置自転車整理体験
	⑫ シンポジウム
	⑬ 仮自転車専用道の設置
	⑭ ノーマイカーデー、サイクル&ライド
	⑮ 自転車通勤奨励制度
	⑯ レンタサイクル

啓発活動計画 ③交通安全教室(学校, 自治会, 街頭)

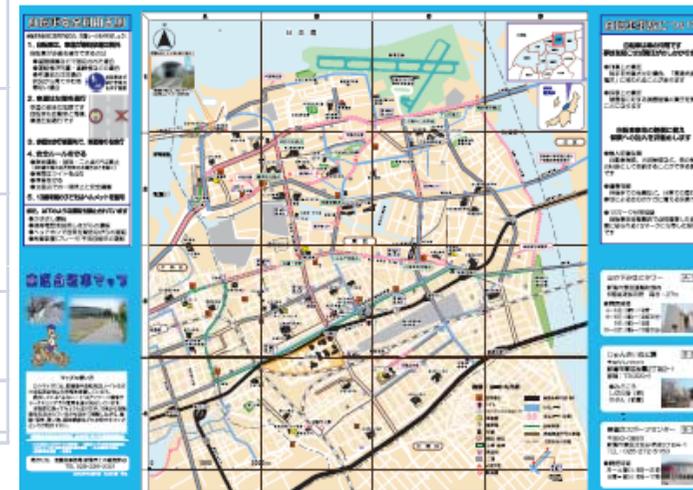
目標	年代や属性に応じて、これまでの取組や、啓発内容が異なるため、各年代に応じたきめ細かな啓発を図る。
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ○保育園・幼稚園での活動（歩き方の啓発） ○小学校での活動（低速自転車としての啓発） ○中学校での活動（中速自転車としての啓発） ○高校での活動（中速自転車としての啓発） ○その他の学校での活動（中速自転車としての啓発） ○地域住民に対する活動（高速も含め全ての場合の啓発） ○街頭での活動（高速も含め全ての場合の啓発） ○ドライバーへの活動 
実施結果	<p>（毎年度実施）</p> <p>平成24年度の実施状況</p> <p>幼稚園・保育園 267施設中203施設で実施（76%）</p> <p>小学校 113校中 109校で実施（96%）</p> <p>中学校 58校中 13校で実施（22%）</p> <p>高校 スタントマンによる事故再現等スケアード・ストレイト教育法による交通安全教室2校</p> <p>地域住民に対する活動・・高齢者交通安全教室として老人クラブ98団体</p> <p>その他に119回の交通安全教室を開催（小・中学校PTA等）</p>
課題と今後の目標	<p>幼稚園・保育園については現状を維持（園・校独自の取組みもあるため）</p> <p>中学校については自転車通学実施校35校への全校実施</p> <p>高校については毎年2校程度を選定し、スケアード・ストレイト交通安全教室を実施</p> <p>老人クラブについては2年に1度を目安に実施</p>
対象地域	市内

啓発活動計画 ④ワークショップの開催	
目的	市民から様々な属性の参加を募り、それぞれの立場から自転車について意見交換を行う中で、正しい走行ルール、駐輪マナーについて意識の向上を図る
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・自転車走行環境の調査 ・様々な立場の人との意見交換 ・ヒヤリハットマップによる情報提供など
実施結果	<ul style="list-style-type: none"> ・中央区自転車マップの作成（H21. 自転車を活用したまちづくり推進協議会） ・東区自転車マップの作成（H24.自転車を活用したまちづくり推進協議会） ・江南区自転車マップの作成（H24.江南区建設課、「自転車のまち“新潟”」の会） ・南区自転車マップの作成（H24,25南区建設課、「自転車のまち“新潟”」の会） ・水と土の芸術祭サイクリングマップ（H24.中央区建設課、「自転車のまち“新潟”」の会）
課題と今後の目標	作成に協力していく
対象地域	市内

中央区自転車マップ



東区自転車マップ



啓発活動計画 ⑧歩道上や駐輪場でのやさしい声かけ	
目的	注意，指導，警告といったマイナスイメージではなく，自転車の快適性，利便性，エコなどプラスイメージを全面にアピールし，自転車利用のイメージアップを図る。
実施内容	○啓発ボランティア活動と並行して実施 ○店の従業員からの声かけ ○学校の課外活動として実施
実施結果	(平成22年度より実施) 水島町自転車レーンにおける啓発(2回)
課題と今後の目標	水島町啓発をはじめ、各季交通安全運動において自転車に関する啓発を継続的に行う。 実施主体は各区・各区交通安全協会・各警察署であることから、具体的な目標数値は定めない。
対象地域	市内

実施状況



啓発活動計画 ⑫シンポジウム	
目的	自転車利用についての実態や交通マナーについての講習会を行い、活動に参加することで、自転車利用マナーの意識向上を図る
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自転車政策に関する話題 ・ 他都市の事例紹介
実施結果	・ 「自転車はここを走る！」（H24.自転車を活用したまちづくり推進協議会、「自転車のまち“新潟”」の会開催）
課題と今後の目標	・ 都度開催協力をしていく
対象地域	市内

チラシ



開催状況

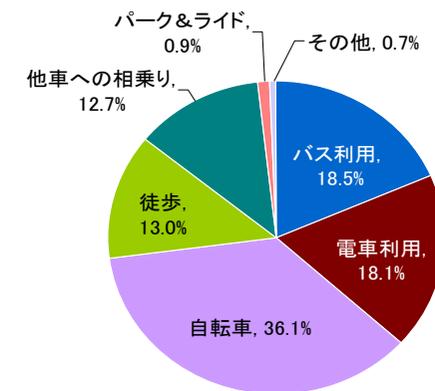


啓発活動計画 ⑬仮自転車専用道の設置

目的	自転車道設置等の実験的な取組を行い，利用者に体験してもらうことで，自転車利用マナーの意識向上を図る
実施内容	・歩行者と自転車の分離
実施結果	・新津屋小路道路空間活用社会実験（H23.古町五，六番町商店街振興組合，中央区建設課等） ・新和交差点矢羽根型路面標示設置社会実験（H24.土木総務課等）
課題と今後の目標	・必要の都度実施及び実施協力していく
対象地域	市内

啓発活動計画 ⑭ノーマイカーデー、サイクル&ライド	
目的	通勤時において、自動車から自転車や公共交通の環境にやさしい交通手段への転換を促すとともに、自転車利用マナー・ルールの意識向上を図る
実施内容	・ノーマイカーデーの実施 ・サイクル&ライド
実施結果	・にいがたノーマイカー（エコ通勤）デー実施（H20～24.都市交通政策課）
課題と今後の目標	継続していく
対象地域	市内

2012にいがたノーマイカー（エコ通勤）デー 実施結果



2012にいがたノーマイカー（エコ通勤）デー 実施結果

実施期間 平成24年10月5日（金）から19日（金） ※土日を含む15日間

実施年度	H24	H23	H22	H21	H20
参加類型	(15日間)	(11日間)	(11日間)	(5日間)	(5日間)
個人(一般参加)	215人	327人	164人	64人	102人
事業所・公益法人等	3,239人	2,894人	2,959人	1,408人	1,497人
行政機関(国・県・市)	89事業所	68事業所	64事業所	62事業所	87事業所
行政機関	2,350人	2,647人	2,299人	2,041人	2,961人
計(延べ参加人数)	5,804人	5,868人	5,422人	3,513人	4,560人
CO2削減量	約21.3t	約26.6t	約24.5t	約15.3t	約20.5t
CO2排出量の世帯数換算(家庭部門)	約1,460世帯/日	約1,820世帯/日	約1,680世帯/日	約1,050世帯/日	約1,390世帯/日
平均通勤距離	約9.2km	約9.6km	約9.5km	約9.3km	約9.7km

参加通勤手段(代表交通手段別割合)

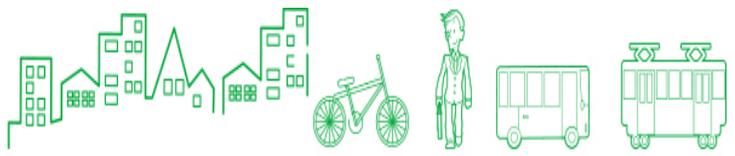
	H24	H23	H22	H21	H20
バス	18.50%	24.30%	20.20%	26.70%	33.10%
電車	18.10%	16.30%	16.30%	19.40%	23.50%
自転車	36.10%	39.70%	37.10%	29.40%	24.60%
徒歩	13.00%	8.30%	9.10%	7.90%	3.80%
相乗り	12.70%	9.60%	13.00%	15.70%	14.80%
P&R	0.9%	1.30%	1.40%	0.8%	0.1%
その他	0.7%	0.5%	2.90%	0.1%	0.1%

啓発活動計画 ⑮自転車通勤奨励制度

目的	通勤時の自転車利用を促進するために企業側が実施する自転車通勤を奨励する
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・マイカー通勤から自転車通勤へ ・自転車通勤手当 ・補助制度の導入
実施結果	・「エコ通勤チャレンジサイト」の開設（H24.12都市交通政策課）
課題と今後の目標	・事業所へのエコ通勤用自転車の貸出しについて（H25.都市交通政策課）
対象地域	市内

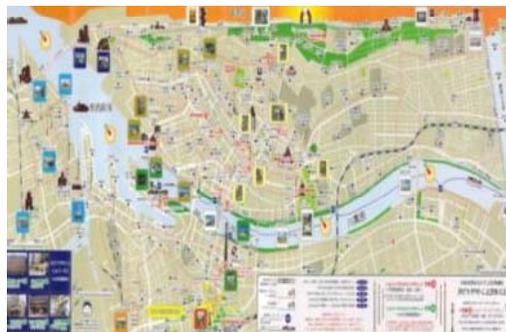


Niigata Ecommuters Challenge Site



- ・エコ通勤のきっかけづくり
- ・過度なマイカー依存からの転換を促すインセンティブを付与
- ・日々のエコ通勤情報の入力による環境や健康に対する貢献度（CO₂削減量・カロリー消費量）を見える化
- ・参加者同士のランキング表示
- ・今後は、スタンプラリーなどのスポット企画（期間限定）を予定

啓発活動計画 ⑩レンタサイクル	
目的	自転車利用促進及び通勤・通学や観光客へ手軽な交通手段を提供するため、レンタサイクルを展開する
実施内容	・各区で観光やまちづくり、ちょっとした移動を目的に実施している
実施結果	<p>○7事業を推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・レンタサイクル推進事業 19箇所173台 再生自転車活用 (H14～中央区・いがたレンタサイクル研究会) ・スマートクルーズ 8箇所25台 高級自転車貸出 (H20～中央区自転車を活用したまちづくり推進協議会) ・地域活性化事業 8台 (H20～北区 (株)まちづくり豊栄) ・自転車貸出事業 10台 (H22～秋葉区建設課) ・新津鉄道資料館サテライトレンタサイクル事業 30台 (H25～秋葉区歴史文化課) ・西区でみつける! まち歩きおもてなし事業 28台 (H21～西区農政商工課) ・岩室観光施設レンタサイクル 30台 (H22～西蒲区産業観光課) ・江南区まちなか回遊レンタサイクル 17台 (H22～江南区地域課)
課題と今後の目標	<p>ポート数増大</p> <p>様々な車種導入</p>
対象地域	市内



総合的な取組体制

計画

走行空間

土木総務課
(走行空間計画)
道路計画課
(新規・改築道路計画)

駐輪計画

土木総務課
新潟駅周辺整備事務所
(新潟駅周辺)

放置自転車対策

土木総務課

啓発活動計画

市民生活課
土木総務課
都市交通政策課
等

実施

走行空間

新潟国道事務所
各区建設課
東西土木事務所
新潟駅周辺整備事務所

駐輪計画

各区建設課

放置自転車対策

各区建設課

啓発活動計画

市民生活課
土木総務課
都市交通政策課
各区総務課等

協力

走行空間

新潟国道事務所
新潟県警
交通事業者

駐輪計画

新潟県警
交通事業者
自治会・商店街 等

放置自転車対策

新潟県警
自治会・商店街
自転車店
大学 等

啓発活動計画

新潟県警
自治会等
自転車関係団体等

連携

連携

連携

他官庁・団体での取り組みと協力体制について

○国土交通省北陸地方整備局新潟国道事務所

○新潟県警

○団体

- ・自転車のまち“新潟”の会
- ・自転車を活用したまちづくり推進協議会
- ・にいがたレンタサイクル研究会 等

→例を紹介します

- ・直轄国道の整備
- ・良好な自転車交通秩序の実現のための総合計画の策定
- ・社会実験の実施
- ・イベントの実施 など

他官庁・団体での取り組みと協力体制について

○国土交通省北陸地方整備局新潟国道事務所

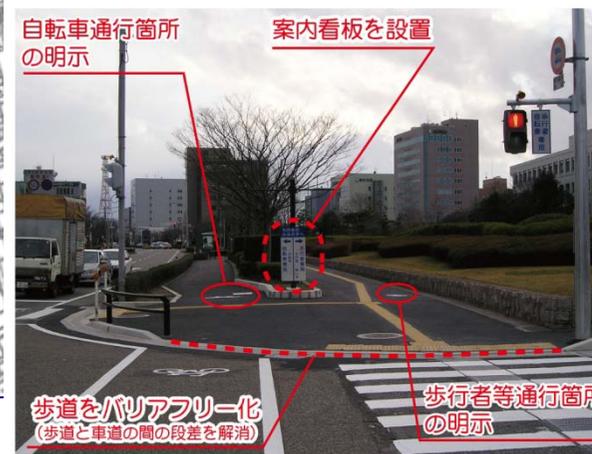
モデル地区の整備(ネットワーク上の直轄国道の整備)



国道7号の自転車道整備)



国道116号の自転車走行空間整備)



他官庁・団体での取り組みと協力体制について

○新潟県警

- ・新潟県自転車通行環境対策協議会の開催
- ・良好な自転車交通秩序の実現のための総合計画
(各年度で策定・推進)
- ・現地交通安全指導
- ・ルール・マナーに対する啓発
- ・設計・施工での協議など

自転車走行空間現地立会



他官庁・団体での取り組みと協力体制について

○自転車関係団体

- ・ワークショップによる自転車走行マップの作成
- ・社会実験の実施・協力
- ・シンポジウムやイベントの実施・協力
 - ・H24「自転車はここをはしる」シンポジウムの開催
 - ・新潟シティライドへの開催協力
 - ・サイクリングイベントの開催など

シンポジウム開催状況



新潟シティライドの様子



他官庁・団体での取り組みと協力体制について

○社会実験の実施・協力（多数団体・官庁による）

- ・ H20.新潟島地域の自転車（走行&駐輪）環境の創出社会実験（自転車を活用したまちづくり協議会実施）
- ・ H20.歩行者と自転車を分離する社会実験（新潟国道事務所実施）
- ・ H21.新潟市万代・新潟駅周辺地区における良質な自転車駐輪環境創出に係る社会実験（自転車を活用したまちづくり協議会実施）
- ・ H22.ナンチャリ社会実験（新潟Iキナまちづくり協議会（にいがたレンタサイクル研究会実施 オブ：新潟国道事務所）
- ・ H22.榎谷小路押しチャリ社会実験（自転車のまち“新潟”の会・新潟国道事務所実施）
- ・ H23.新津屋小路道路空間活用社会実験（中央区の道路空間を考える会実施 オブ：新潟国道事務所，中央署）

榎谷小路押しチャリ社会実験



1. 実験目的

- ①歩行者が安心して利用できる歩道空間の実現を目指す。
- ②「歩道は歩行者優先」というルールを、より多くの自転車利用者に応用する。

2. 実験内容

榎谷小路（西堀交差点～鏡橋交差点間 L≒450m）において、歩道を通行する自転車利用者に対し、自転車から降りて押して歩くこと（以下、「押しチャリ」）への協力を呼びかける。

3. 実験期間

平成22年10月2日（土）～平成22年10月24日（日） 23日間

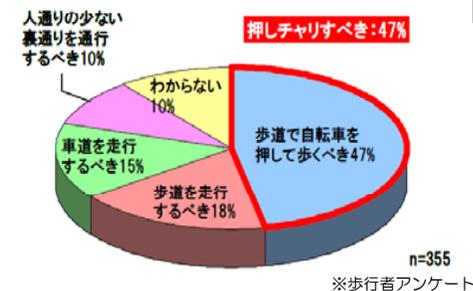
4. 実験場所



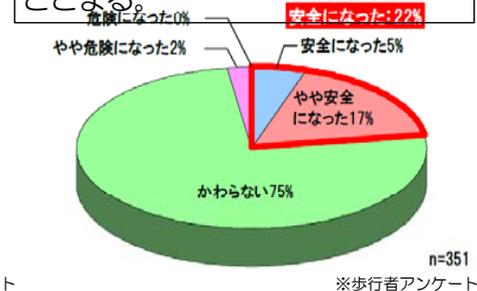
6. 実験結果概要

- ①実験区間の自転車の通行すべき位置
- ②歩行者の安全性変化

実験区間は「押しチャリすべき」と約半数の人が感じている。

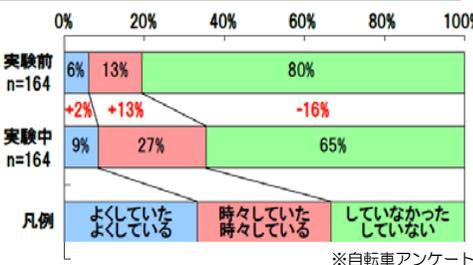


実験による安全性の向上効果は、「かわらない」が75%と大多数を占め、「安全になった」は22%にとどまる。



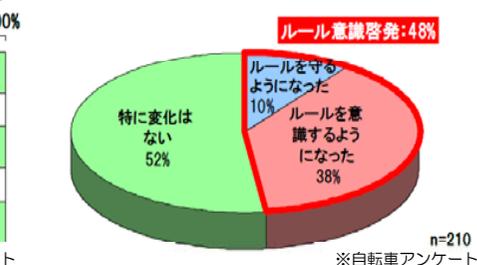
③押しチャリへの行動変化

実験により、「押しチャリを「よくしている」が2%、「時々している」が13%増加。



④自転車ルール・マナーの意識啓発

実験により半数の方が自転車ルールへの意識が高まったと回答。



5. 実施主体

- ①実施主体
2010NIIGATAオフィス・アート・ストリート実行委員会、「自転車のまち“新潟”」の会、新潟国道事務所
- ②協力団体
榎谷小路商店街振興組合、新潟市

7. 実験状況



ちらしの配布状況

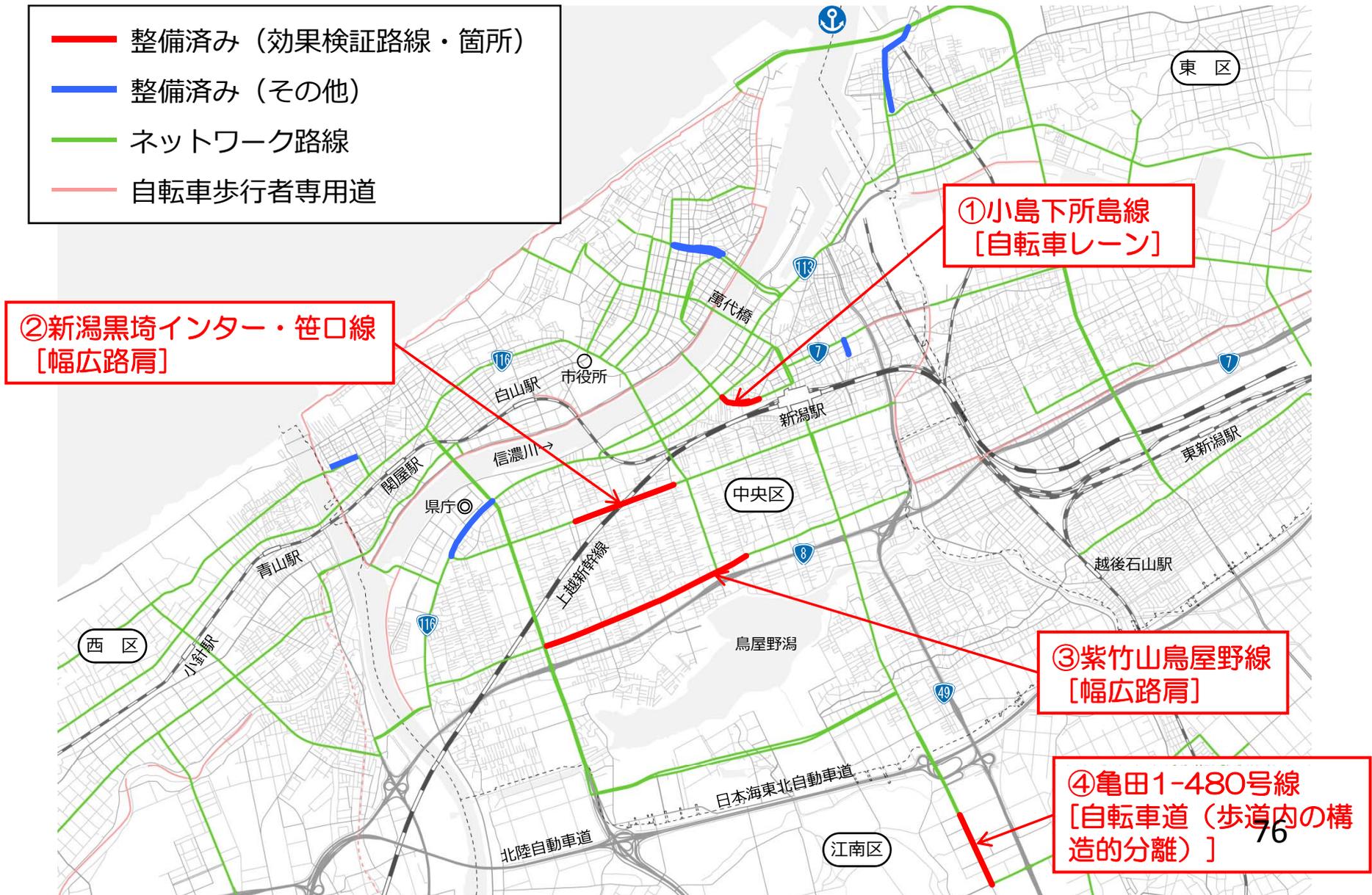


実験中の状況

<効果検証>

1. 自転車走行空間整備の効果検証
2. 交差点内の矢羽根型路面表示設置実験
3. 新潟市における自転車に関する事故

1. 自転車走行空間整備の効果検証



①小島下所島線 [自転車レーン]

概要



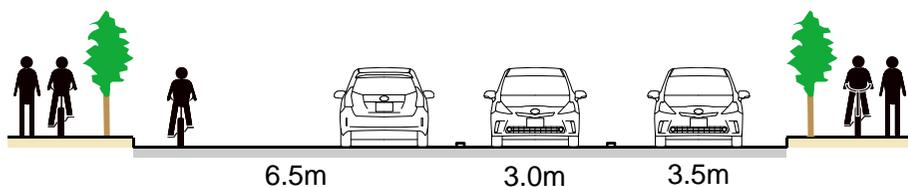
【状況写真】



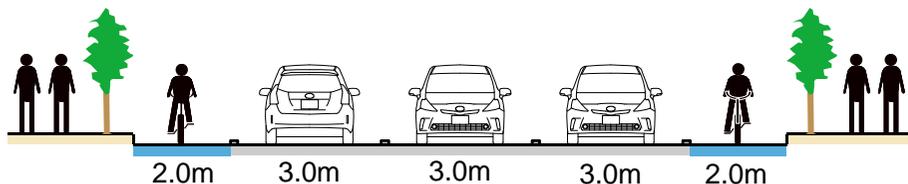
【位置図】

整備イメージ

【整備前】

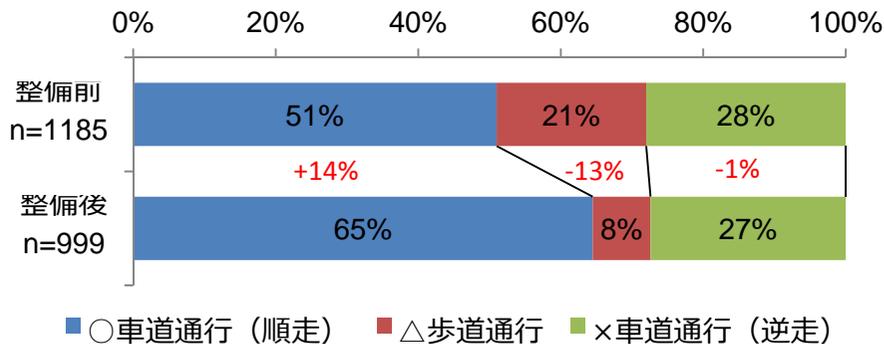


【整備後】



通行区分順守率

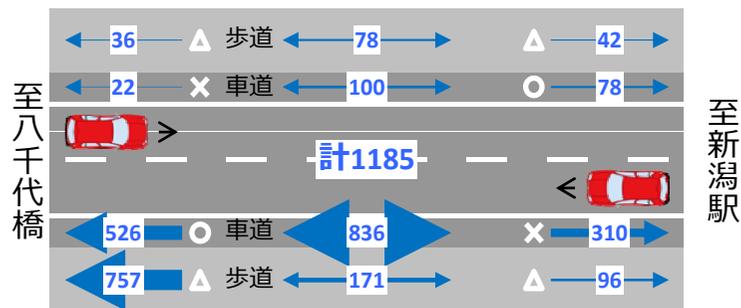
- ・車道通行（順走）は整備後65%（14%増）
- ・逆走が依然として多い。



自転車交通量（12時間）

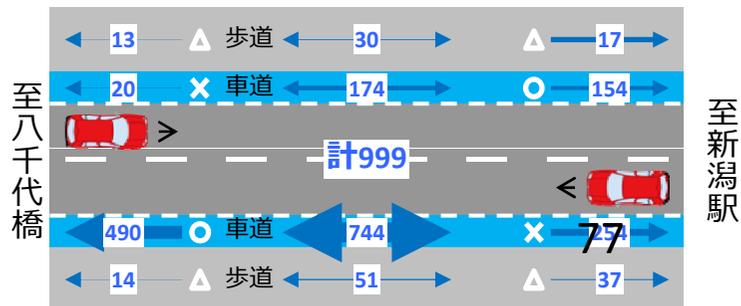
整備前

H22.6.8



整備後

H23.12.2



②新潟黒埼インター・笹口線 [幅広路肩]

概要



【状況写真】



【位置図】

整備イメージ

【整備前】



【整備後】



通行区分順守率

- ・車道通行（順走）は整備後23%（19%増）
- ・歩道通行が約7割を占める。



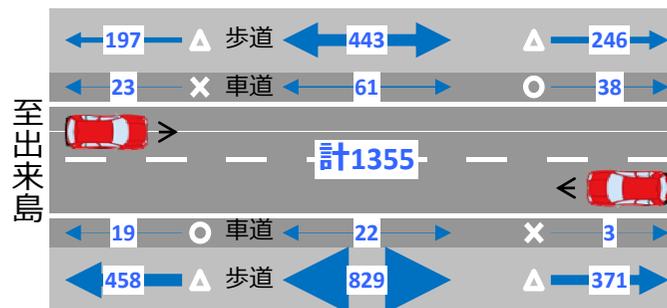
※車道通行の順走率79%

■○車道通行（順走） ■△歩道通行 ■×車道通行（逆走）

自転車交通量（12時間）

整備前

H21.9.11



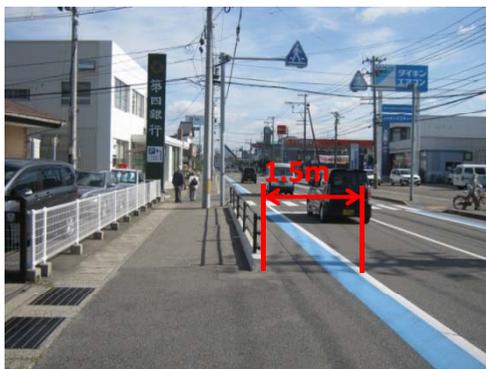
整備後

H24.10.24



③紫竹山鳥屋野線 [幅広路肩]

概要



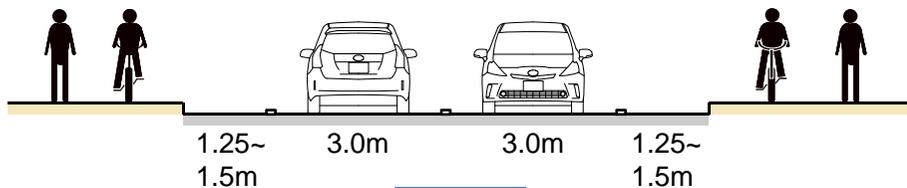
【状況写真】



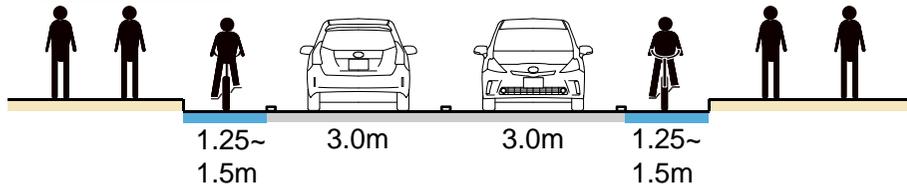
【位置図】

整備イメージ

【整備前】

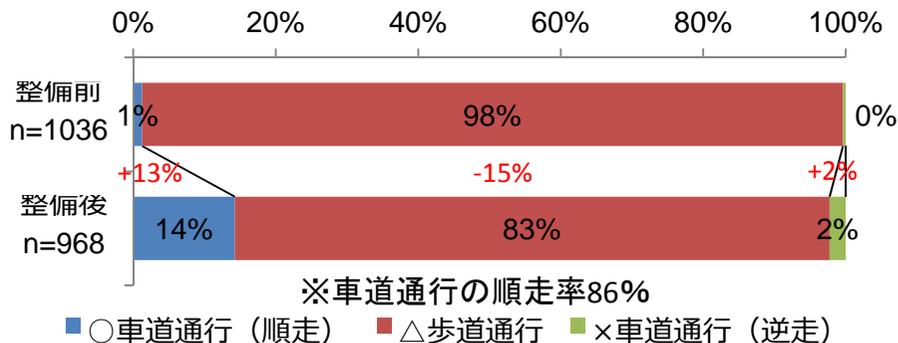


【整備後】



通行区分順守率

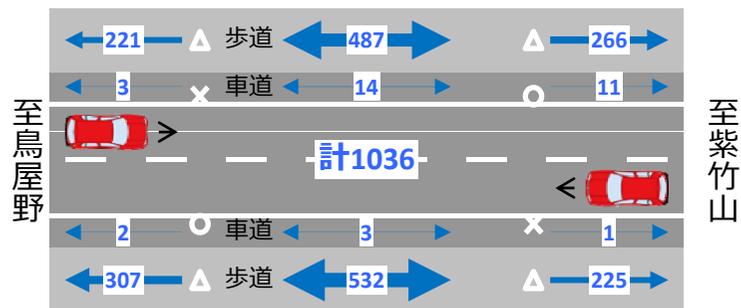
- ・車道通行（順走）は整備後14%（13%増）
- ・歩道通行が約8割を占める。



自転車交通量（12時間）

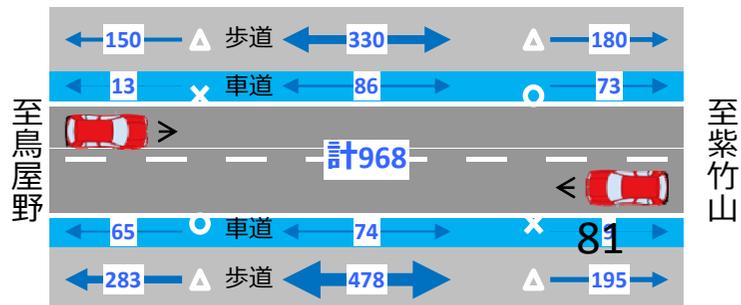
整備前

H21.9.11



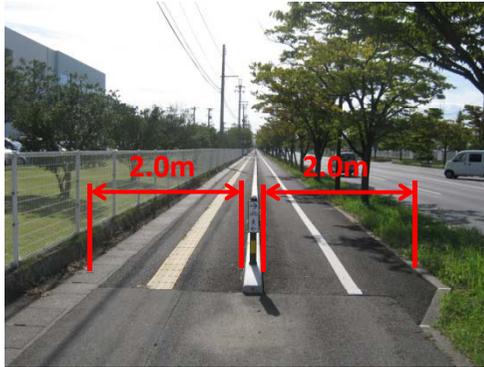
整備後

H24.10.24



④ 亀田1-480号線[歩道内の構造的分離]

概要



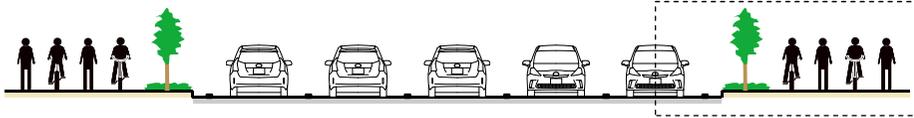
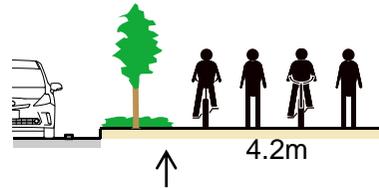
【状況写真】



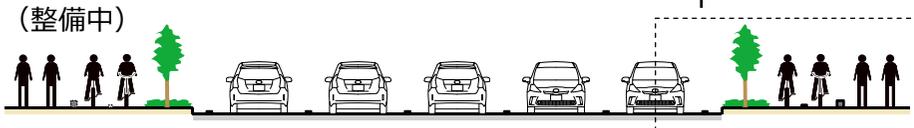
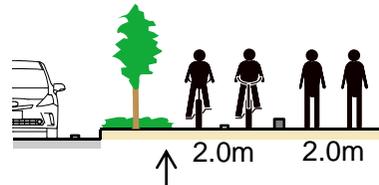
【位置図】

整備イメージ

【整備前】

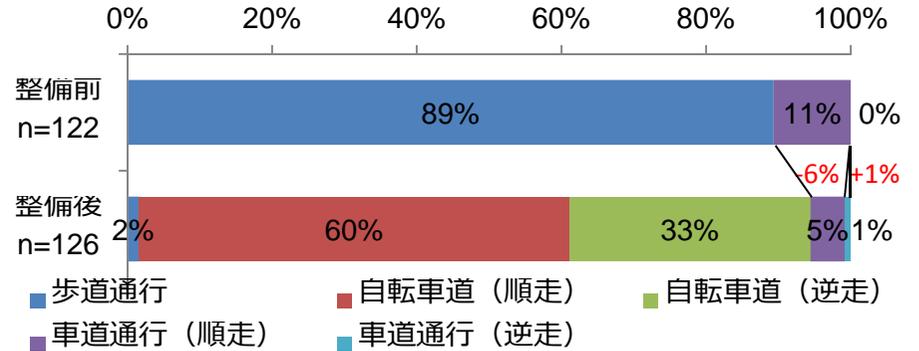


【整備後】



通行区分順守率

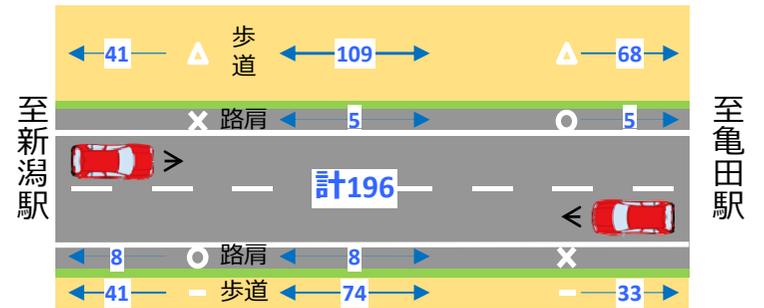
・車道通行はほとんど存在せず、自転車の通行スペースの順走が60%、逆走が33%。



自転車交通量 (12時間)

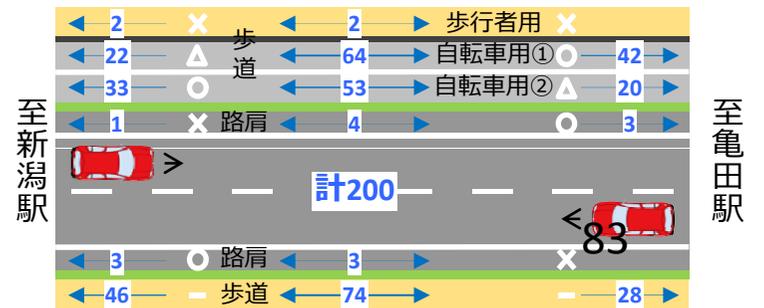
整備前

H21.11.19



整備後

H24.10.24



課題と対応方針

①小島下所島線 [自転車レーン]

- ・自転車専用通行帯であるが、通行区分の順守率は65%にとどまる。
- ・逆走が27%と依然として多い。



実施済みの対策

- ・小島下所島線は、「自転車指導啓発重点地区・路線」に指定されており、街頭活動（指導取締り、指導啓発）を強化する。

④亀田1-480号線 [自転車道（歩道内の構造的分離）]

- ・自転車通行スペースの逆走が約3割を占め、通行区分の遵守率は65%

- ・自転車の通行スペースは、センターラインが引かれているものの通行方法を示す矢印表示が設置されていないため、設置する。

現況



対策イメージ



②新潟黒埼インター・笹口線 [幅広路肩]

- ・約7割が歩道通行を占める。車道通行順走率は79%

③紫竹山鳥屋野湯線 [幅広路肩]

- ・約8割が歩道通行を占める。車道通行順走率は86%
- ・安全性の評価が他路線に比べ低くなっている。

- ・②、③は法定外の自転車通行帯（幅広路肩）であり、これまでは現地での啓発活動が実施されていないため、啓発活動の実施について検討する。

- ・自転車通行位置を示す路面表示が少ない、また設置されていない区間があるため、路面表示を増設する。

- ・交差点部や狭窄部など路面着色がされていない区間があるため、矢羽型路面表示で連続して表示する。

現況



対策イメージ



課題と対応方針2

①小島下所島線 [自転車レーン]

- ・ 自転車専用通行帯上での**駐車**に対する啓発
- ・ 自転車専用通行帯での**自転車の走り方**を啓発

②新潟黒埼インター・笹口線 [幅広路肩]

- ・ **交差点付近での路面表示があいまいであったため**、
今後は国のガイドラインに示された通り、**矢羽根型表示**を設置し、**車両と混在区間であることを示す**

④亀田1-480号線 [自転車道（歩道内の構造的分離）]

- ・ **交差点内で自歩道で歩行者と混在しているため**
今後自転車道を整備する場合は、国のガイドラインの示された整備の通り**ドライバーから自転車走行が判別しやすい車道での構造的分離を行う**
本路線では、**交差点付近の啓発を強化する**

③紫竹山鳥屋野潟線 [幅広路肩]

- ・ ②と同様

全体

- ・ 自転車走行空間整備後の**自転車走行方法についてチラシ**などで啓発を行う
- ・ **統一した啓発看板や路面表示設置**を行い、**啓発を強化する**

2.社会実験実施概要

①実験目的

新和交差点内に矢羽型の路面表示を設置し、交差点内における自転車の通行位置や矢羽型路面表示の大きさ、設置間隔などを検討する基礎資料を得ることを目的とする。

②実験期間

平成24年11月10日（土曜）～平成24年12月10日（月曜） 30日間

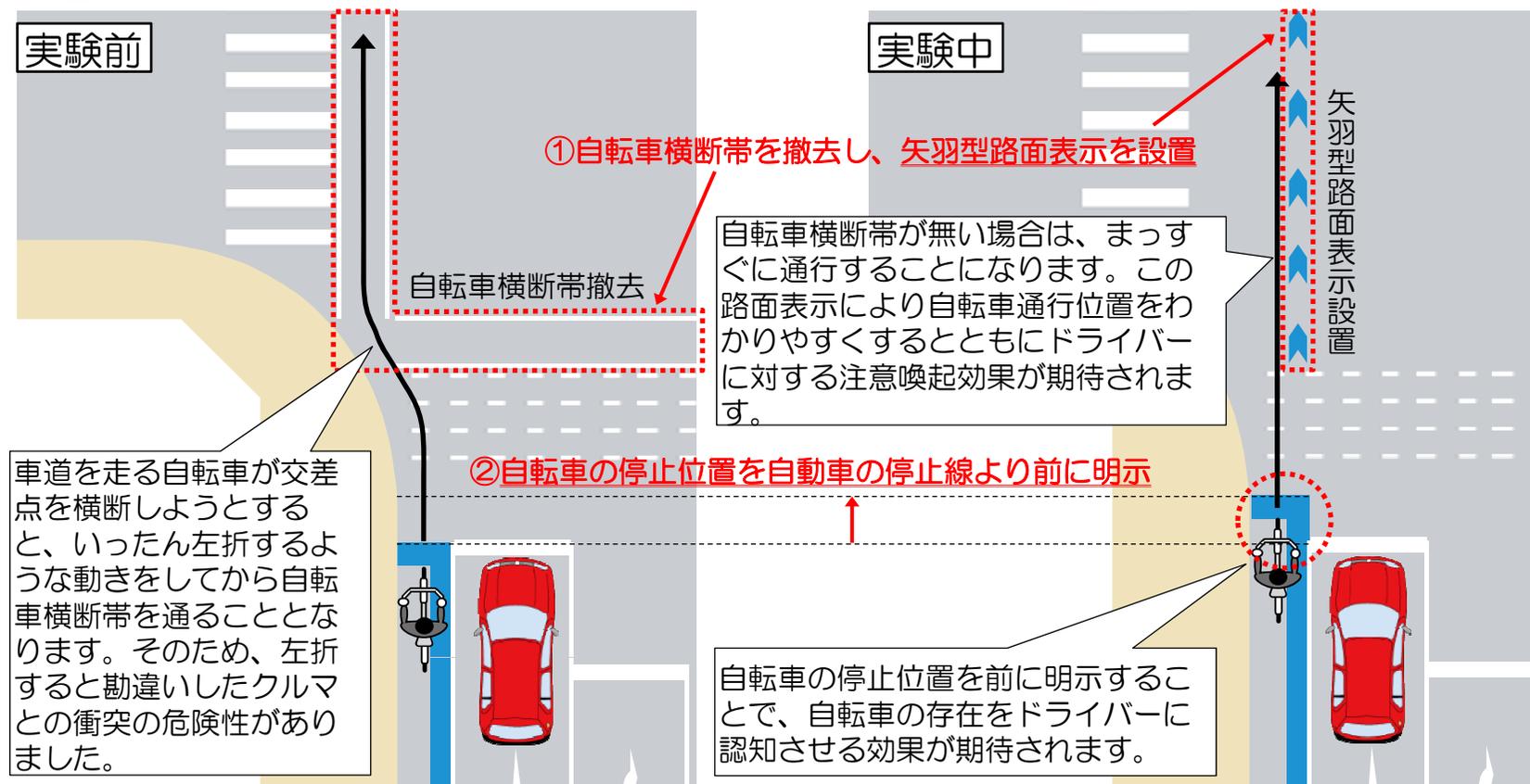
③実験箇所

主要地方道新潟黒埼インター笹口線内の新和交差点



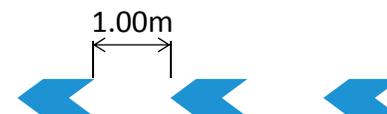
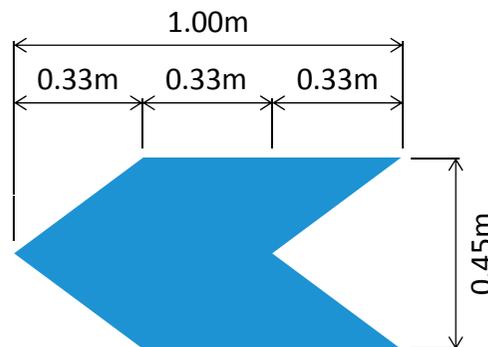
1. 社会実験実施概要

④実験内容



■ 矢羽型路面表示の大きさ

大きさ：幅0.45m×長さ1.00m
設置間隔：1.00m

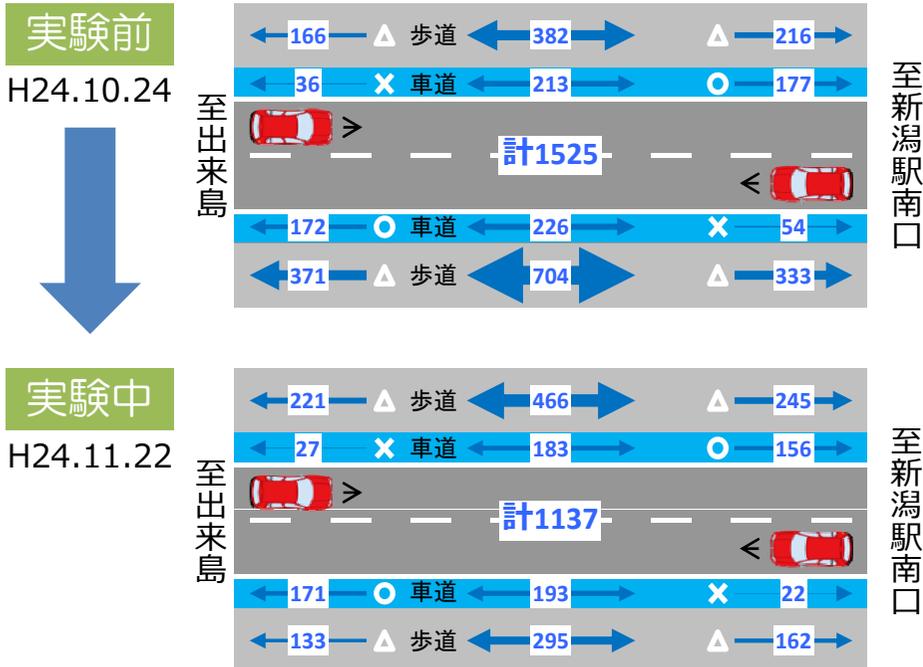


2.社会実験結果概要

実験状況

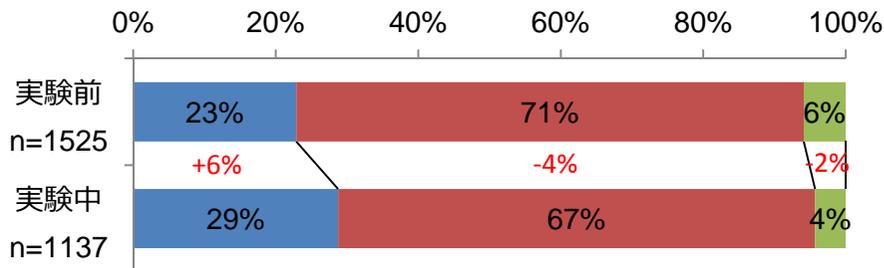


自転車交通量（12時間）



通行区分順守率

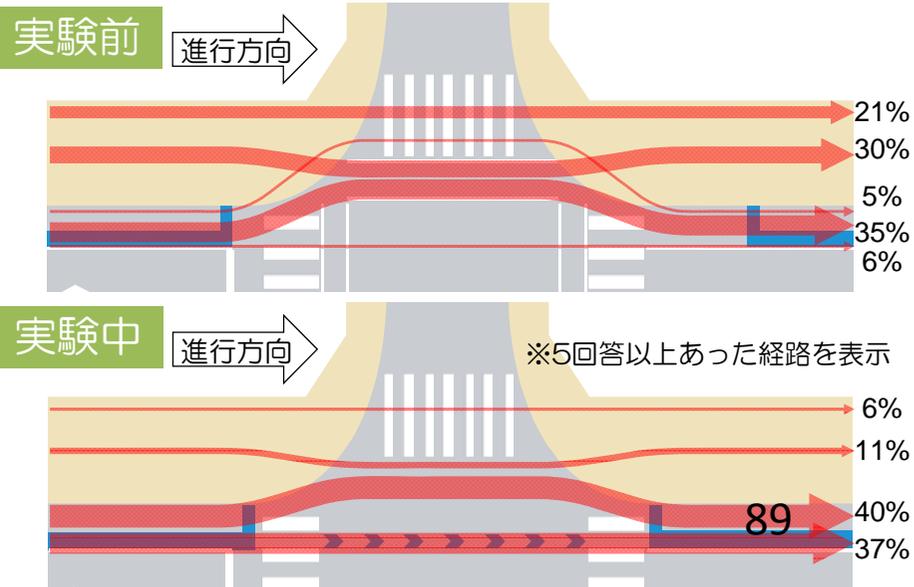
- ・ 交差点内の矢羽型路面表示の設置により、車道通行（順走）が6%向上。



■○車道通行（順走） ■△歩道通行 ■×車道通行（逆走）

交差点内の通行位置

- ・ 実験により、交差点内を直進する割合が31%増加。（実験前6%→実験中37%）



3.まとめ

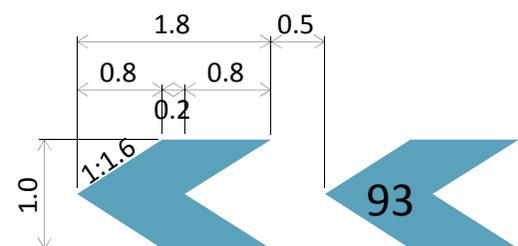
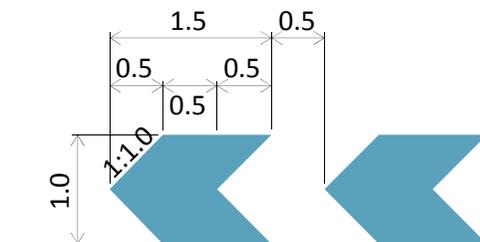
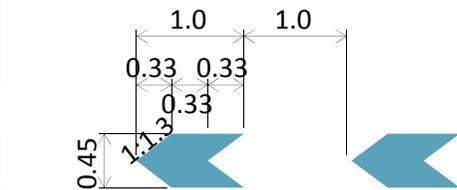
実験結果まとめ

- ・ 矢羽型路面表示の設置により、車道の左側通行で交差点内を直進する割合が増加。
- ・ 矢羽型路面表示の設置、自転車の停止位置を自動車の停止線より前に明示への評価も高い結果となった。

項目	結果
通行区分順守率	車道の左側通行が6%増 (23%→29%)
交差点内の通行位置	交差点内を直進が31%増 (6%→37%)
矢羽型路面標示の大きさ	「ちょうど良い」が80% 「小さい」が18%
矢羽型路面標示の設置間隔	「ちょうど良い」が90%
矢羽型路面標示のデザイン	「わかりやすい」が69% 「わかりにくい」は11%
交差点前後の安全性	ドライバーは交差点内の安全性が低い（逆に言うと注意喚起効果が高まったと考えられる）
矢羽型路面標示を設置への評価	「良い試み」が66%
自転車の停止位置前出しへの評価	「良い試み」が88%

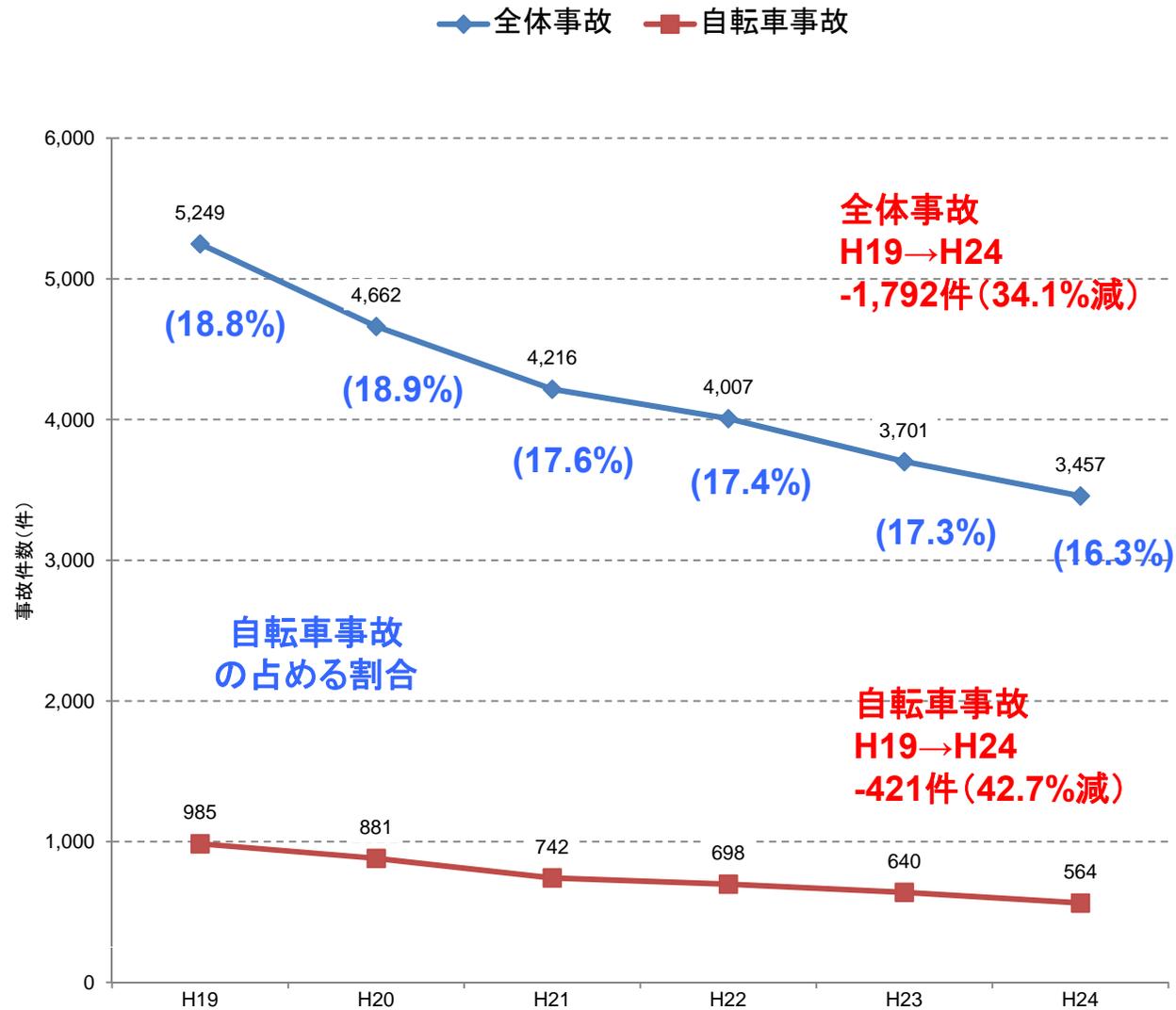
今後の対応方針

- ・ 矢羽型路面表示の設置、自転車の停止位置を自動車の停止線より前に明示への評価も高く、一定の効果を確認できたことから、これらを「新潟市自転車走行空間整備ガイドライン」に反映させる。
- ・ ただし、矢羽型路面表示の大きさについて、「小さい」との回答も多いため、大きさ、設置間隔等について、他地域の事例も踏まえ、再検討を行う。



93

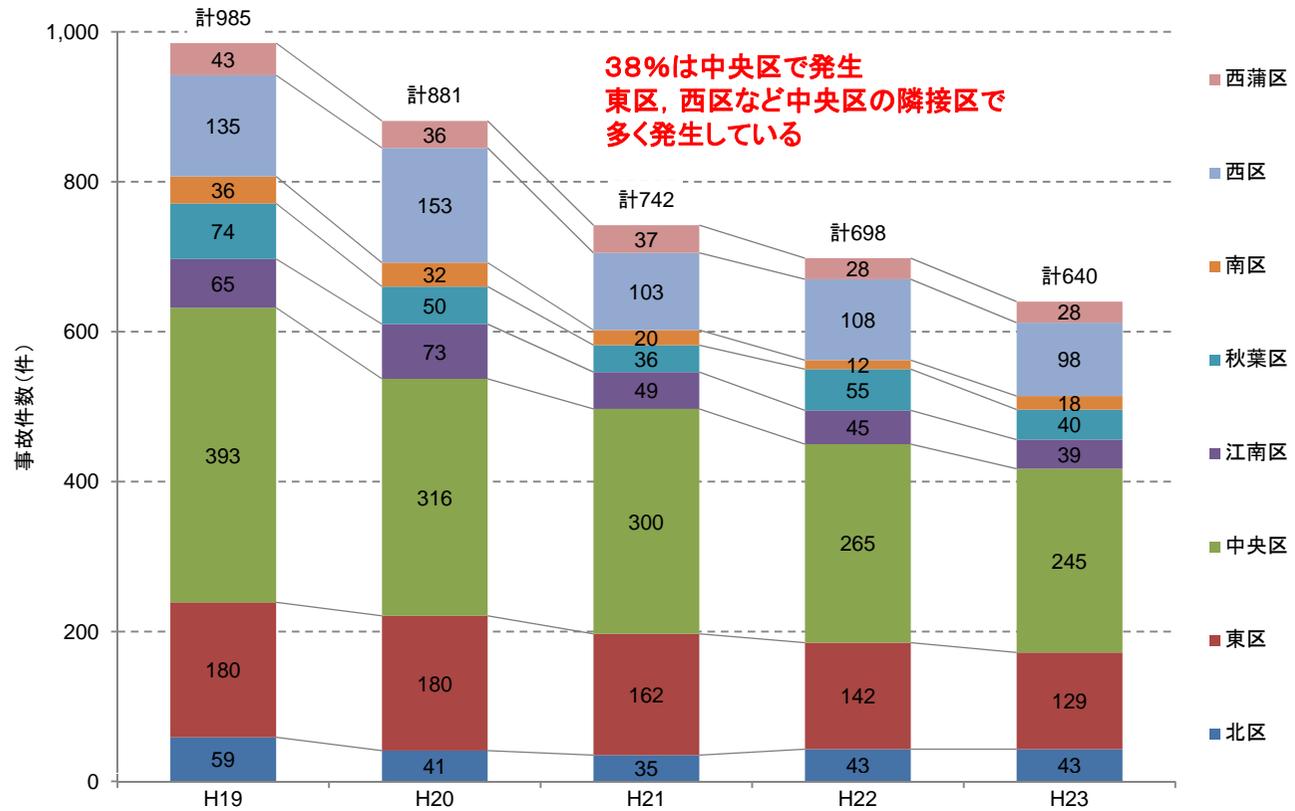
3. 新潟市における自転車に関する事故



3. 新潟市における自転車に関する事故

区別の自転車事故発生件数

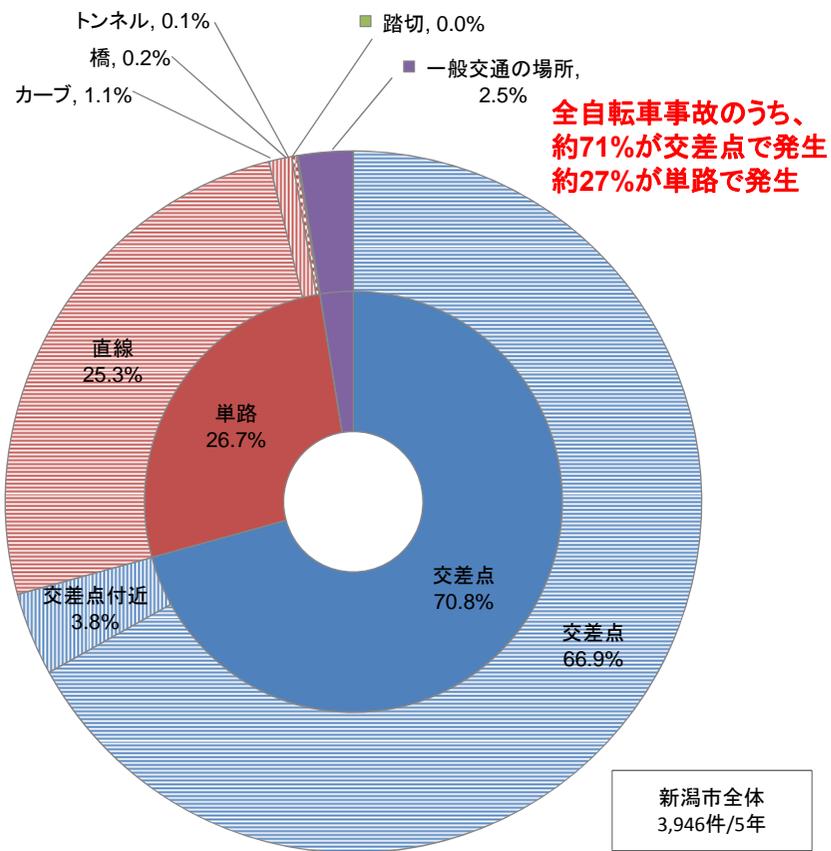
各区ともH19に比べ減少傾向



3. 新潟市における自転車に関する事故

道路形状別事故発生件数

※H19～H23合計



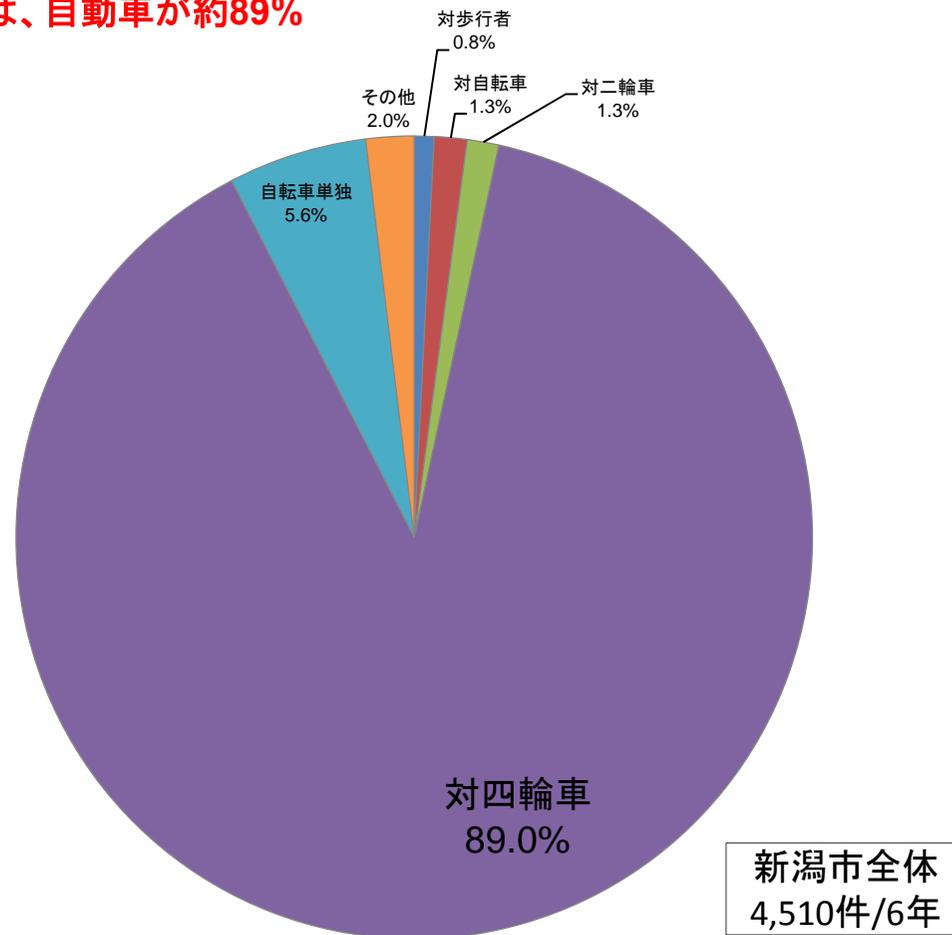
※「一般交通の場所」とは、「道路法に定める道路」「道路運送法に定める自動車道」以外の場所で、不特定多数の人車が自由に通行することができる場所のことをいう(主に私道など)。

3. 新潟市における自転車に関する事故

当事者(対自転車)別事故発生件数

※H19~H24合計

自転車事故の相手は、自動車が約89%
対歩行者は0.8%
対自転車は1.3%



最近の 動向は・・・

自転車事故、交差点事故多発! 交通事故抑止緊急対策実施中!

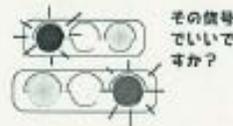
【 5月1日(水) ~ 5月31日(金) 】

新潟中央警察署管内では、昨年、交通事故が増加し、今年に入っ
からも、4月30日現在、発生件数が65件(前年同期47件、+38.3
%)と増加しています。

特に、自転車事故13件(前年同期5件、+160.0%)、交差点事故
48件(前年同期30件、+60.0%)が増加しており、交通指導取締りを
強化するなど交通事故抑止緊急対策を実施しています。

◎ 「ドライバーの皆さんへ」

- 通過交差点と先の交差点の信号機を見誤り、赤信号無視による交通事
故が発生しています。また、歩行者・車両分離式信号機で歩行者用信号
機のみを見て、車両用信号機が赤信号のまま進行している車両も見受け
られることから、信号機の確認を励行して下さい。
- 右・左折時、徐行したうで横断歩道上と周辺の安全確認を励行して下
さい。



◎ 「自転車の皆さんへ」

交差点での自転車の飛び出し、道路横断中の
交通事故が発生していることから、交差点を通過
する場合は一時停止と安全確認を励行して下さい。



◎ 「歩行者の皆さんへ」

道路横断時は、左右の安全確認を行い、車両が接近している場合は、止
まるか、通過を待って横断して下さい。横断歩道を横断する際も安全確認を
励行し、特に、右・左折して来る車両に注意して下さい。



新潟中央警察署・新潟中央交通安全協会

3. 新潟市における自転車に関する事故

まとめ

- ・中央区等のまちなかの信号機のない交差点(主に生活道路)で車と自転車の事故の対策が必要

(4) 計画の課題と改善点について

1 課題

2 改善点

2 改善点

○全体

(1) 他部署, 他機関への計画の浸透度が低い

→市他部署への計画お知らせ文書の送付(H23)

→走行空間ガイドライン作成時に説明会を開催(H25.3)

(2) 関係課での連携度が低い

→関係課会議を年2回程度開催する (H24は本委員会準備のため, 所属長会議を含め3回開催した)

→自転車関連記事メールを関係課担当者に転送

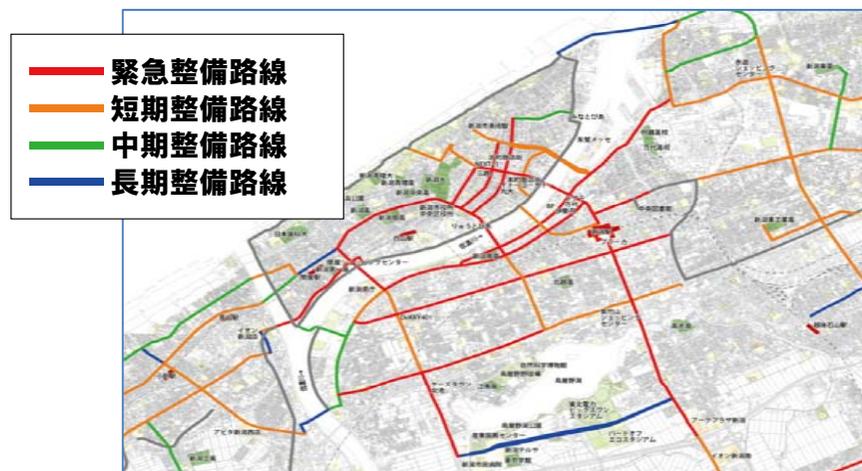
2 改善点

○走行空間計画

(1)計画の優先度順位がない

→H23,24年度に自転車走行空間優先度調査を行い、
ネットワーク路線の優先度順位表を作成した
これに基づき各区でH25～H29の5箇年の優先度順位
表を作成中である

優先度区分図(中央区)



2 改善点

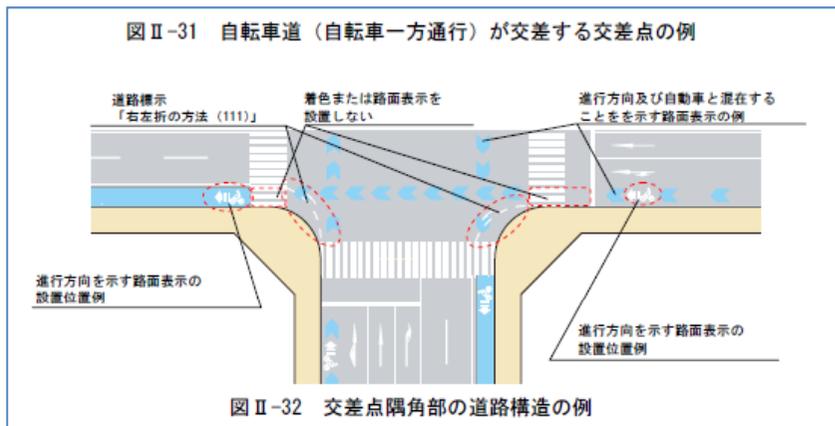
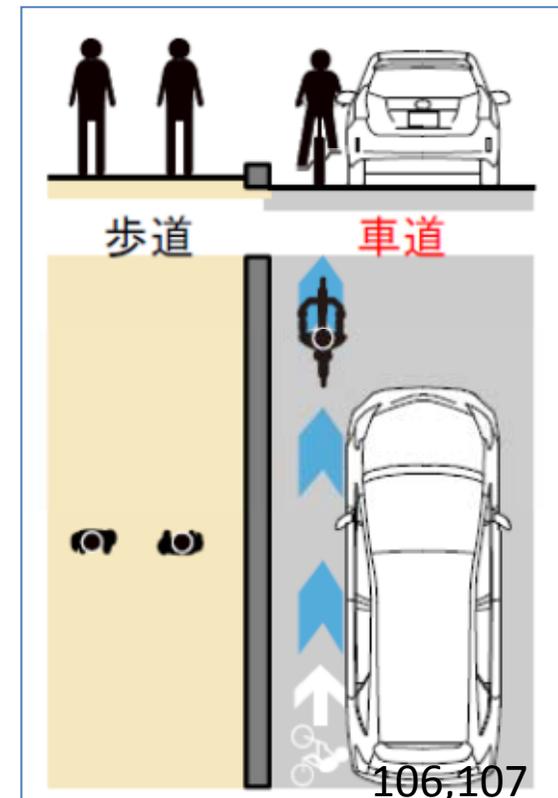
○走行空間計画

(2)路肩の狭い箇所の整備が手つかず

(3)自転車道の交差点部の処理

→H24.11に国のガイドラインが策定され整備方法が盛り込まれた市のガイドラインでも国のガイドラインを参考にしている

車道混在の場合の矢羽根型路面標示



2 改善点

○走行空間計画

(4)新規・改築路線の整備方法

→市の走行空間整備ガイドラインを策定し、自転車需要が多い路線の新規・改築路線の整備フローを策定した。

→ネットワーク路線以外の整備について施策メニューに新規項目として載せる予定である。(新)

自転車需要が高い路線を整備

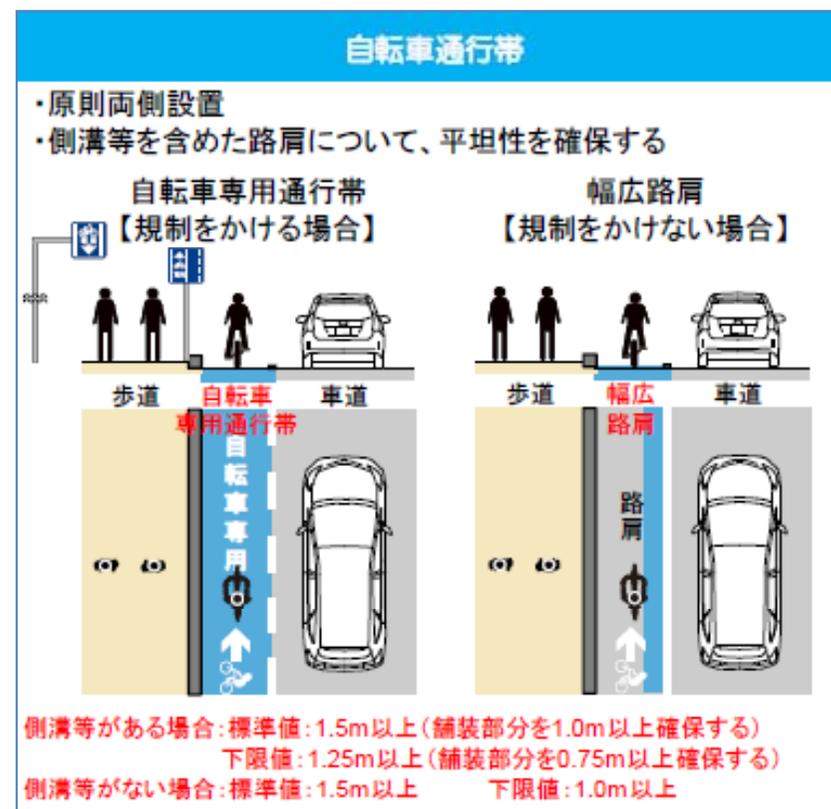
- ① 自転車交通量が500台/日以上もしくは80台/h以上の路線
- ② 地域内における自転車利用の主要路線としての役割を担う、公共交通施設、学校、地域の核となる商業施設及びスポーツ関連施設等の大規模集客施設、主な居住地区等を結ぶ路線
- ③ 自転車と歩行者の錯綜や自転車関連の事故が多い路線の安全性を向上させるため、自転車通行空間を確保する路線
- ④ 地域の課題やニーズに応じて自転車の利用を促進する路線
- ⑤ 自転車の利用増加が見込める、沿道で新たに施設立地が予定されている路線
- ⑥ 既に自転車の通行空間（自転車道、自転車専用通行帯、自転車専用道路）が整備されている路線
- ⑦ その他自転車ネットワークの連続性を確保するために必要な路線

2 改善点

○走行空間計画

(5) 自転車専用通行帯の整備

→自転車専用通行帯は冬期除雪時の通行帯の確保が困難なため、法規制のない幅広路肩として整備している。



2 改善点

○走行空間計画

(6) 自歩道での注意喚起看板の設置

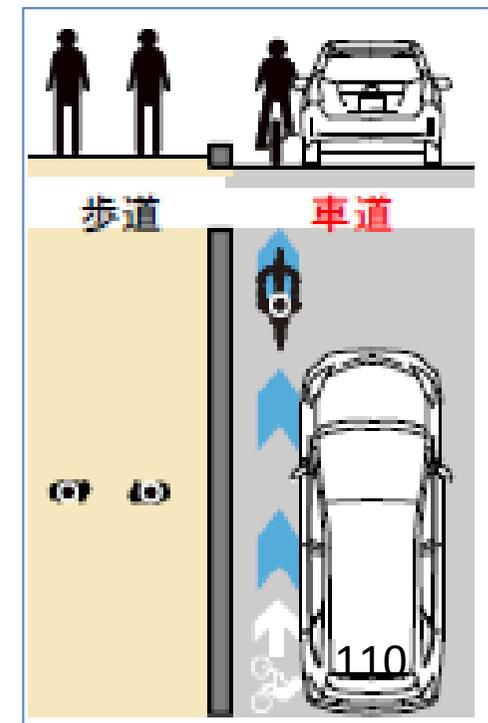
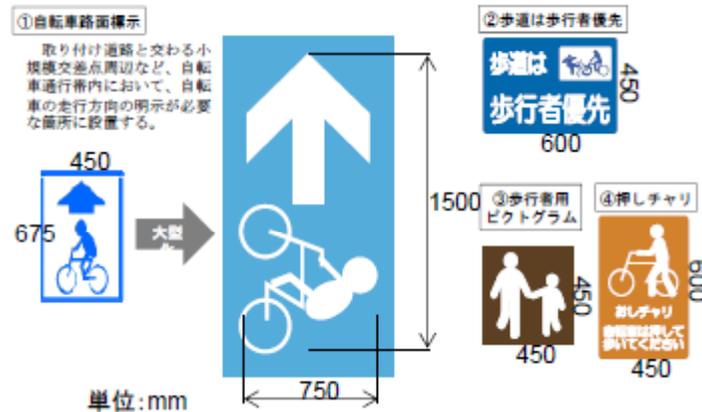
→ 通行帯の確保が困難な路線は自歩道の注意喚起看板のみを設置したが、今後は啓発看板と路面表示、矢羽根型表示を併用して走行空間整備を進める予定である(新)

矢羽根型路面表示

自歩道注意喚起看板を設置した路線



ピクトグラム・看板の例



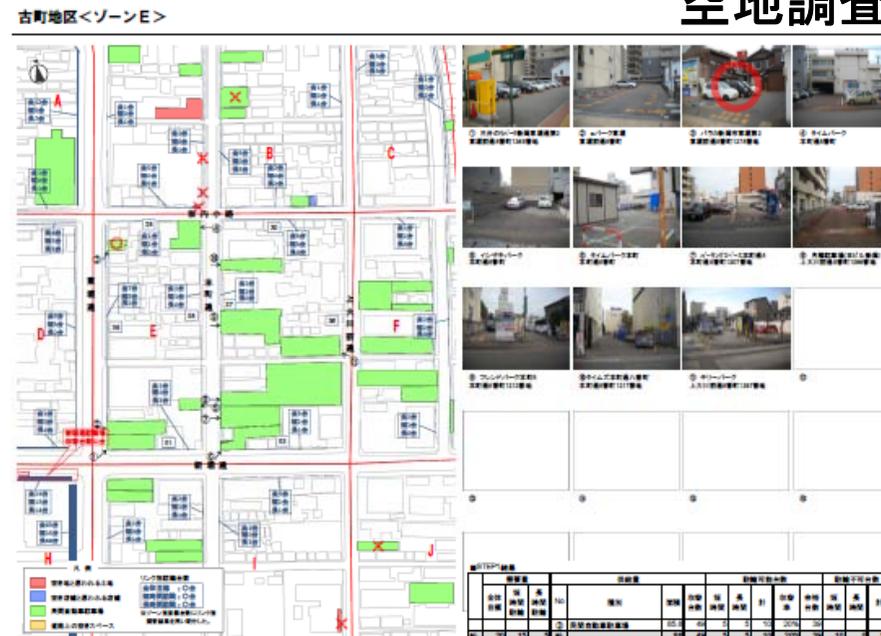
2 改善点

○駐輪計画・放置自転車対策

(1)街中での駐輪場用地の確保

→H23に古町地区の駐輪場候補地の調査を行い整理簿を作成した。これに基づき空地の地権者などから情報招集を行う

空地調査



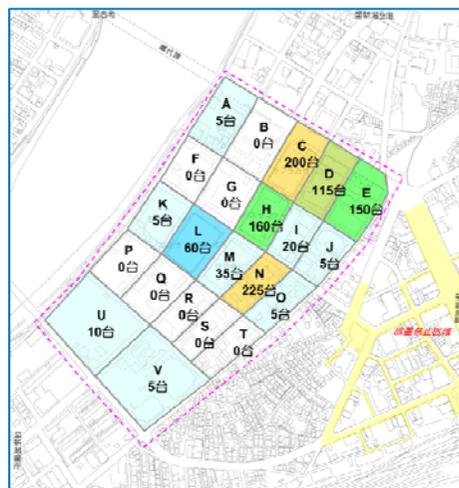
2 改善点

○駐輪計画・放置自転車対策

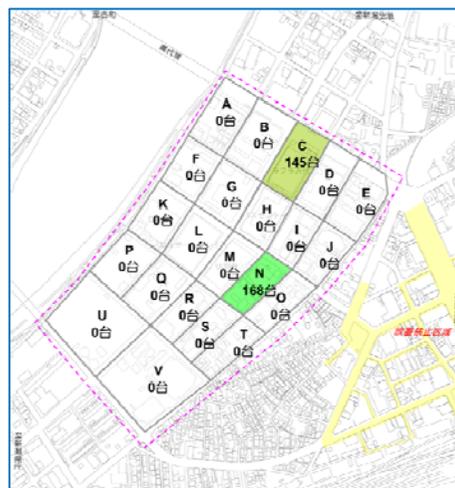
(2)古町・万代地区の詳細な駐輪計画がない

→ゾーニングを行い、古町・万代地区の詳細な駐輪計画を行った。これに基づき配置候補地を探している。

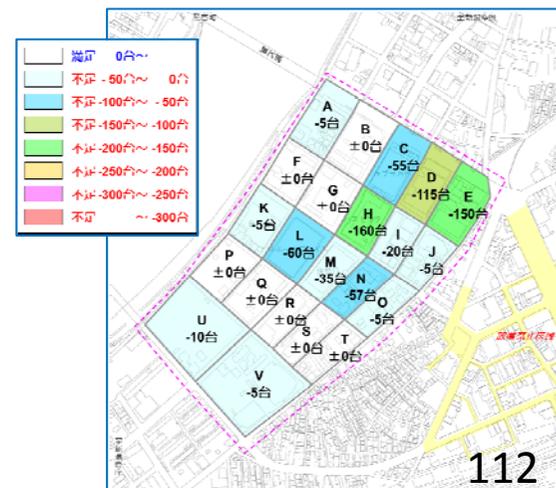
現況の過不足台数算定結果【古町地区】



■需要量：1000台



■供給量：313台



■過不足台数：-687台

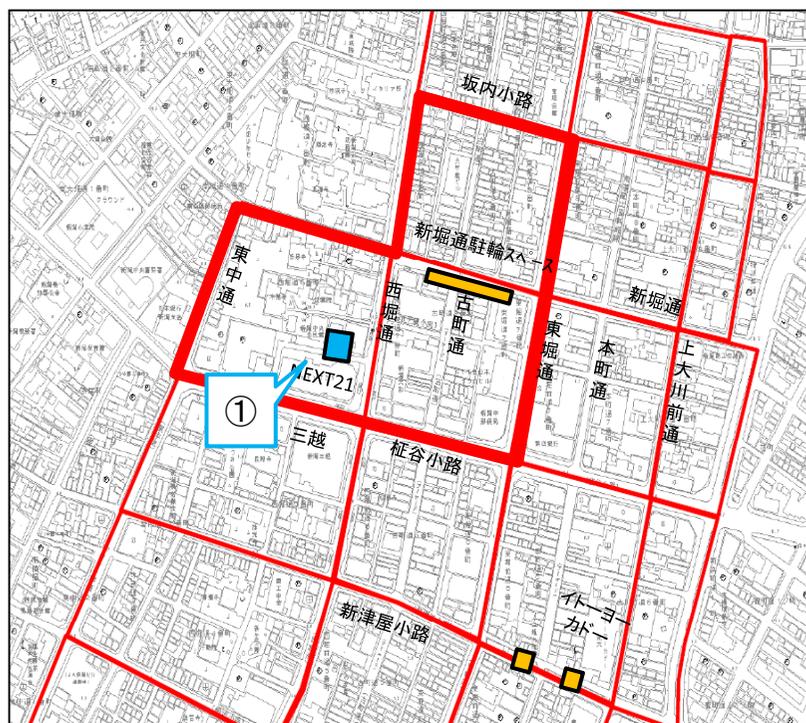
2 改善点

○駐輪計画・放置自転車対策

(3)古町地区の放置対策

→駐輪場の整備に合わせ、放置対策を検討する。

対策例(古町)



凡例

対策区域

既設駐輪場

新設増設駐輪場

ステップ1 ①改築
H24年度末

①西堀通駐輪場
立体自走式
280台→707台
(+427台)

2 改善点

○啓発活動計画

(1) 自転車通行帯の走行方法の浸透度が低い

→ 自転車通行帯等の自転車の走り方について、自転車安全利用五則と併せた啓発チラシを作成し、路線整備前後に付近の自治会・学校に送付または説明する。

(整備後に「走り方が分からない」という声があった。)

啓発チラシ



自転車安全利用5則チラシ



2 改善点

○啓発活動計画

(2) 中学生以上へのルール・マナーの徹底

→道路上での声かけやチラシ配布等の他にも、事業者や関係団体と協力し、シンポジウムやサイクルイベントを開催して啓発活動を行う。

シティライド開催

シンポジウムチラシ

新潟市自転車を活用したまちづくり推進協議会シンポジウム
おめさん、どこ走ってるん？
『自転車はここを走る！』

どうすれば自転車が走行ルールを
守りマナーが良くなり、自転車を
かした安心で安全なまちづくりが
できるか。ルールとマナーを守るこ
の重要性をあらゆる年代の方に理
解していただくために、自転車のスペ
シャリストのお二人から聞くって
いただきます。

主催：新潟市自転車を活用したまちづくり推進協議会
共催：「自転車のまち」推進協議会
後援：国土交通省 北陸地方整備局 新潟県警察本部

開催日 2012年11月11日(日)
13:00~15:40 受付開始 12:30

会場 クロスバルにいがた
4F 映像ホール
〒951-8055
新潟市中央区礎町通3ノ町2086

安心・安全 走行空間

ルール・マナー

自転車フォーキースト、定住 智哉
NPO自転車活用推進研究会、小林 成基

内容 第一部 現状報告・活動報告
第二部 議決事項の経過
第三部 パネルディスカッション

ご参加 **入場無料 120名**
席数の申込額をご確認ください

問合せ 新潟市土木部土木総務課内
新潟市自転車を活用したまちづくり推進協議会 事務局 025-226-3021
資料請求先 2012年11月11日開催『自転車はここを走る！』(Eメール)より イラスト/中野野矢

シンポジウム開催



2 改善点

○啓発活動計画

(3)生活道路交差点での事故数が多い

→自転車関連事故調査を行い、事故が多い箇所の対策を行う。

自転車事故の発生場所

